

小学校用教科書 内容解説資料

2020年度

小学生の音楽

教育芸術社

102 ~ 602

子どもたちの心が音楽で通い合い、
学びと社会がつながることを願って、
新しい教科書をつくりました。

キーワードは
3つの『つながる』

音楽で子どもと
生活や社会が
つながる

音楽で
子どもと子どもが
つながる

音楽の学びが
つながる



教育基本法との
対応は本書 p.60 へ

音楽で子どもと生活や社会がつながる

我が国や郷土の文化を受け継ごうとする気持ちが育ちます	6
音や音楽と生活や社会との関わりを考える力が育ちます	8
音楽をきっかけにして子どもの興味・関心が広がります	12
音楽とのいろいろな関わり方について触れられます	14

音楽で子どもと子どもがつながる

スタートカリキュラムに配慮した導入です	16
音楽活動を通してスムーズに友達づくりができます	17
対話的な学びで、子どもの気付きや学びが広がり深まります	18
音楽を通して心がつながります	20

音楽の学びがつながる

音楽科で育成する学力を確かなものにします	22
主体的な学びをサポートします	24
系統的な題材構成により、6年間の学びが積み重なります	26
指導の手だてやノウハウを引き継ぎます	28
思いや意図をもって表現する力を育てます〔歌唱の例〕	30
主体的で意欲的な学習を引き出します〔器楽の例〕	32
積み重ねの学習によって創造性が伸長します〔音楽づくりの例〕	34
様々な教材で多様性が育ちます〔鑑賞の例〕	36

編集上の工夫や特色

国歌への意識を高め、国際性を養う「君が代」の扱い	38
道徳教育や人権教育に対する配慮	39
ユニバーサルデザインに向けた取り組み	40
大切な日本の歌を次の世代へ	42
外国語活動との連携／ICT 機器の活用について	43
教材と学習指導要領の内容との対照表	44
指導書等のご案内	
教師用指導書、拡大教科書	56
学習者用デジタル教科書、指導者用デジタル教科書（教材）	58
検討の観点別に見た特色	
教育基本法、学習指導要領との関連	60
編集上の工夫や特色	62

著作者

[監修]

小原光一

●元横浜国立大学教授

飯沼信義

●桐朋学園大学名誉教授

浦田健次郎

●東京芸術大学名誉教授

[執筆・編集]

石井ゆきこ

●東京都港区立芝小学校主任教諭

石上則子

●元東京学芸大学准教授

江田 司

●名古屋学院大学准教授

小梨貴弘

●埼玉県戸田市立戸田東小学校教諭

鹿谷美緒子

●作曲家

杉本竜一

●作曲家

富澤 裕

●合唱指揮者

長谷部匡俊

●作曲家

藤原道山

●尺八演奏家

館 雅之

●神奈川県横浜市立つづきの丘小学校校長

吉澤 実

●リコーダー奏者

ほか3名

教育芸術社編集部



株式会社 教育芸術社

〒171-0051 東京都豊島区長崎 1-12-15

TEL : 03-3957-1175 (代表)

<https://www.kyogei.co.jp/>

音楽で子どもと生活や社会が つながる

本書p.6～14をご覧ください。

【例】

子どもが郷土芸能を受け継いで活躍している写真を掲載し、親しみをもちながら、我が国や郷土の文化を受け継ごうとする気持ちを養えるようにしました。

わたしたちが受けつく郷土芸能



石見神楽のお囃子を習う小学生

わたしたちも、ちいきにつたわる音楽を、次の時代に大切にたえていきたいね。



(神戸の由緒話 (兵庫県) ▶ うら表紙)

復興と希望の歌



「しあわせ運べるように」は、兵庫県神戸市の小学校で音楽の先生をしている白井 真さんがつくりました。

1995年に起こった阪神淡路大震災がきっかけになって生まれた歌「しあわせ運べるように」を歌う小学生。被災した人たちに勇気付けたこの歌は、震災を体験していない小学生が防災の大切さを考える場などで、今なお歌いつがれています。また、外国語に訳されて海外でも歌われています。

【例】

「防災・復興」や「スポーツ」などの観点から、音や音楽が果たす役割について考えるコラムを掲載し、学んだことと生活や社会とのつながりを考える力が育つようにしました。

表現するときに大切なこと

フィギュアスケートを観ている人は、フィギュアスケート選手を見て、感動や憧れを抱く人が多い。多くの人々の心を引きつける演技と音楽との関係について、お話をうかがいました。

フィギュアスケートは、リンクに滑るスピードが速く、今は音楽に合わせて、音楽を聴くスポーツです。すべりや跳躍、音楽と演技が合わさって、フィギュアスケートとなります。音楽は、全てを包み込んで、曲を聴くときは、まず自分が感じることを大切にしながら音楽を聴きます。同時に、フィギュアスケートのよさを伝えたい、自分の心を強く伝えることができ、観客の心が動くことができる、観客の心が動く。

フィギュアスケートは、リンクに滑るスピードが速く、今は音楽に合わせて、音楽を聴くスポーツです。すべりや跳躍、音楽と演技が合わさって、フィギュアスケートとなります。音楽は、全てを包み込んで、曲を聴くときは、まず自分が感じることを大切にしながら音楽を聴きます。同時に、フィギュアスケートのよさを伝えたい、自分の心を強く伝えることができる、観客の心が動く。

浅田真央

浅田真央は、フィギュアスケート界の女王。2014年のソチオリンピックで金メダルを獲得し、2018年の平昌オリンピックでも金メダルを獲得した。彼女の演技は、観客の心を強く動かす。フィギュアスケートは、リンクに滑るスピードが速く、今は音楽に合わせて、音楽を聴くスポーツです。すべりや跳躍、音楽と演技が合わさって、フィギュアスケートとなります。音楽は、全てを包み込んで、曲を聴くときは、まず自分が感じることを大切にしながら音楽を聴きます。同時に、フィギュアスケートのよさを伝えたい、自分の心を強く伝えることができる、観客の心が動く。

音楽で子どもと子どもが つながる

本書p.16～20をご覧ください。

【例】

子どもやキャラクターの吹き出しを充実させて、気付いてほしい点や創意工夫のポイントを分かりやすく示し、対話的で協働的な学習を進められるようにしました。

どんな音色にしたらまほうのかんじに合うかな。



まほうがせいこうするかんじを出すには、強さをどうすればいいかな。

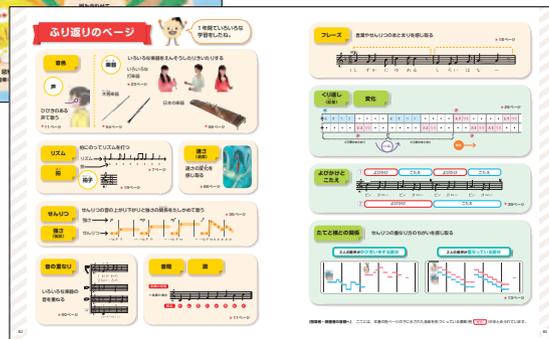


音楽の学びが つながる

本書p.22～37をご覧ください。

【例】

現行の「題材構成」や「ふり返りのページ」による積み重ねの学習を踏襲しつつ、新たに「学びの地図」を示し、1年間の学習について見通しをもつことができるようにしました。



● 曲の中で気持ちがいちばんもり上がるところを、曲の山といいます。「ふじ山」の曲の山をさがしてみましょう。

曲の山では、音が高くなったり強くなったりすることが多いよ。

気持ちののりあがり
曲の山
時間のながれ

- せんりつを指てどりながら「ふじ山」を歌って、音の上がり下がりかんじとりましょう。いちばん高い音はどこにあるかな。
- 気持ちがいちばんもり上がるところを、じっさいに歌いながらさがしましょう。

【例】

掲示物や常時活動のアイディアなど経験豊富な先生方のノウハウを掲載し、子どもたちが実感をもって着実に学習できるようにしました。

「つながる」を

その他の 編集上の工夫

本書p.38～43をご覧ください。

教育基本法の
趣旨を踏まえて

本書p.60をご覧ください。

【例】

童謡や唱歌を世代を超えて大切に歌い継いでいくために、全学年に「歌いつごう 日本の歌」のコーナーを設けました。



表紙に込めたメッセージ

6学年分の教科書を右図のように並べると、それぞれのイラストがつながり、一つの地図のようになります。

このイラストには、「子どもたちがいろいろな音楽と出会い、友達と楽しく関わり合いながら、思いを込めて表現することができるように」という願いを込めました。

子どもたちの成長に合わせて、低学年は「音楽との出会い」、中学年は「友達と共に音楽を表現する」ことの楽しさ、高学年は「音楽で思いを伝える」ことの大切さというテーマで描いています。



音楽で 子どもと 生活や社会が つながる

授業で学んだ音楽は、
学校の中だけにとどまらず、
自分の人生や社会にもつながっていきます。

新しい「小学生の音楽」では
我が国や郷土に伝わる音楽文化を
未来へ受け継いでいけるように、
音楽との出会い方を工夫しました。

我が国や郷土の文化を受け継ごうとする気持ちが育ちます

次世代の音楽文化の担い手である子どもたちを育成するという観点においても、音楽科の教科書の果たす役割は大きいと考えています。子どもたちが地域の祭りや音楽に親しみを感じながら、興味・関心をもてるように、音楽が生活の中に根付いている様子の分かる写真や、郷土の音楽を身近に感じられるような活動を取り入れました。

体験型の鑑賞学習で親しみをもつ

お囃子の太鼓のパートを口唱歌で歌ったり、声の出し方をまねしながら民謡を歌ったりする活動を通して、子どもたちがその音楽に親しみをもてるように工夫しました。

実際に歌ってみる活動を通して

3 神田囃子「投げ合い」

●しめだいのリズムを、囃歌(口唱歌)で歌ったり、打ったりしましょう。

- 1 もはんえんそうをよくきいて、囃歌をおぼえましょう。
- 2 囃歌を歌えるようになったら、リズムを打ってみましょう。

神田囃子や中心の囃歌「もはんえんそう」

囃歌は、楽歌のリズムや音ののんじをまねて作られたものです。わたしたちは、囃歌を歌ってリズムやせんりつをおぼえたり、囃歌をえんそうします。囃歌をえんそうして歌っていると、自然と曲ののんじをつかむことができます。みなさんも、いっしょに歌ってみましょう。

たいこを打つまねをしたり、手でつづえを打ったりしましょう。

60ページのえんそうは、みなさんで囃歌のリズムやせんりつをまねたりして歌ってみましょう。

●しめだいのこに目をきつけて、もう一度「投げ合い」をききましょう。

もはんえんそう (リズム) 囃歌

3年 p.62

4 ちいきにつたわる民謡をきいたり歌ったりしましょう。

●「こきりこ」をきいて、音楽のとくちょうを感じ取りましょう。

こきりこ 山形民謡

●もはんえんそうをきき、まねて歌いましょう。

どなんを感じの曲を、歌いながらどなんをくちょうを感じながら。

こきりこ
たははしるんごに
いはいアアアアア
マドのつもアロアアハレのつもアロアア

たいこ ふえ ぼうささら くわがね つづみ

かわれている楽器
こきりこ せりあが(9×23cm)のまのまのをまねて音を出す楽器です。
ひんざさら たくさんの鳴り音を合わせる楽器です。

4年 p.26・27

調べ学習で興味・関心を育てる

社会科や総合的な学習の時間との連携を図りやすいように、調べる際の観点や方法を示しました。

4 ちいきにつたわる音楽を調べよう

●わたしたちのちいきにつたわる音楽を調べ、そのとくちょうを感じ取りましょう。

ちいきにつたわる音楽にはどのような種類があるかな?

民謡 ちいきの人々のくらしの中から生まれ、歌いつづれてきた歌
時 八景(津軽・秋田) 高良舞(秋田)
民謡(津軽) 高良舞(秋田)

囃子音楽 ちいきにつたわる、お祭りや行事の音楽、おどりとびきなど
時 狂囃(かき) (秋田) 石巻舞(津軽)

調べ方にはどのような方法があるかな?

ちいきの人の話を聞く 図書館や資料館で調べる インターネットで調べる

越中五箇山こきりこたほそん会の若狭音平さんにインタビュー

しづみん 「こきりこはどんな民謡なのですか?」
若狭 「五箇山民謡市の五箇山地方につたわる民謡です。もはんえんそうをきいて、歌いながらどなんをくちょうを感じながら歌っています。」

しづみん 「マドのつづみやアロアア、ハレのつづみやアロアアという音は、どのような意味なのですか?」
若狭 「はつりとちがわらないです。おどりに合わせて、おもしろおかしくはりました民謡だとわっています。」

しづみん 「こきりこおどりのほのよなときにおどるのですか?」
若狭 「お祭りと行われる五箇山民謡のおどりで、10・17という日の子どもたちが歌います。」

しづみん 「囃歌さんは、どんな気持ちでこきりこを歌っているのですか?」
若狭 「歌っているときに、かんしやの気持ちをもちっています。歌うことがとても楽しいです。」

わたしたちが受けつづる郷土芸能

わたしたちも、ちいきにつたわる音楽を、次の時代にわたしたちにつたえていきたいね。

石巻舞のお囃子を習う小学生 産子の囃歌(津軽) 10・17民謡

インタビューの例

4年 p.28・29

SDGsに
つながる
視点

郷土の芸能や音楽への興味・関心を育てながら、諸外国の文化の大切さや多様性についても理解できるように工夫しています。

子どもたちが
活躍している
様子を伝える
写真

郷土の祭りや芸能を紹介する際、子どもたちが参加している写真を掲載し、小学生が興味・関心をもてるように配慮しました。

わたしたちがうけつぐ おどり

うんどうかいで エイサーを おどる 小学生 (沖縄県)

山形花がさまつりて 花がさおどりを おどる 小学生 (山形県)

阿波おどり (徳島県) ▶ うらびょうし

2年 p.11

たいこに
ちょうせん!!

● しめたいこや長胴たいこを打ってみましょう。

打ち方

しめたいこ 長胴たいこ

たいこを演奏する小学生 (徳島県)

3年 p.63

1年

わたしたちがうけつぐ
おどりや おんがく

おててご舞
(新潟県糸魚川市)

「おててこまい」というおまつりて、4にんのごどもたちが ゆったりとまいます。

2年

わたしたちがうけつぐ
おどりや 音楽

徳島市阿波おどり
(徳島県徳島市)

「れん」というグループごとに、にぎやかな音楽にあわせておどります。

6年

わたしたちが受けつぐ
郷土芸能

長浜曳山まつりの子ども歌舞伎
(滋賀県長浜市)

江戸時代から伝わる、子どもたちが演じる歌舞伎です。はなやかな曳山(山車)につくられた舞台で上演します。

わたしたちが
受け継ぐ郷土芸能

(各学年の裏表紙)

5年

わたしたちが受けつぐ
郷土芸能

佐八の掲鼓踊
(三重県伊勢市)

古くからの地域に伝わるおどりで、「かんこ」とよばれる太鼓を打ちながらおどります。

4年

わたしたちが受けつぐ
郷土芸能

請戸の田植踊
(福島県双葉郡浪江町)

東日本大震災で被害を受けた、浪江町に伝わるおどりで。震災後も続けられ、ちいきの人たちの心をつなっています。

3年

わたしたちが受けつぐ
おどりや音楽

長崎くんち
(長崎県長崎市)

子どもたちが、かねやたいこをえんそうして、船を動かす人たちをもち上げます。

音や音楽と生活や社会との関わりを考える力が育ちます①

音楽科で学んだことを自分の人生や社会に生かすことができるように、身の回りで見つけた音を音楽づくりの学習と関連付ける活動を取り入れたり、音や音楽にまつわる内容のコラムを設けたりして、子どもたちが音や音楽に対してもった興味・関心と、音楽科の学習がつながるように工夫しました。

生活の中の音、自然の音など身の回りの音の面白さに気付く

身の回りにあるいろいろな音を見つけ、その音を使って即興的に音遊びをする活動を通して、音そのものの面白さにも気付くことができるように学習の手立ても示しました。



1年 p.30・31

1年生は、学校の中で聞こえる音を通して

2年生は、生活の中で聞こえる音を通して



2年 p.28

音の働きや役割を考える

身の回りにある音もつ働きや役割についてのコラムを掲載し、全ての人暮らしやすい社会や、音が生活を豊かにすることについて考えることができるように工夫しました。



6年 p.75

SDGsにつながる視点

音の視点から、目標11「住み続けられるまちづくりを」の2に示された、障害者や高齢者などのニーズに配慮し、交通の安全性改善により、全ての人々が安全に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供するという内容を考える機会をつくります。

音楽で子どもと生活や社会がつながる



とうしん ドーイ

沖縄県民謡



おいわいの せきや
おまつりの さいごに、
みんなて おどります。

それぞれ どんな
かんじの きょくかな。



2年 p.11

音楽の背景を
想像したり
実感したりする
ことができる

踊りの音楽の鑑賞教材では、地元の人たちが知り合いの誕生日を祝って踊っている様子が分かる写真を掲載しました。

音楽と
生活や社会との
関わりを
見つめ直す

歌ったり演奏したりする活動が、人と人とをつないでいることを考えるきっかけとなる写真やコラムを設けました。

特集 音楽が人と人をつなぐ



音楽にはどんな力があるんだろう。
みんなて話合ってみよう。



もしも、
音楽がなくなったら
どうなるかな。



お年寄りと歌で交流する小学生。



ステージ上の演奏者と、それをきいている観客が一体となって盛り上がっている様子。

復興と希望の歌



「しあわせ運べるように」は、兵庫県神戸市の小学校で音楽の先生をしている白井 真さんがつくりました。

1995年に起こった阪神淡路大震災がきっかけになって生まれた歌「しあわせ運べるように」を歌う小学生。

被災した人たちが勇気付けたこの歌は、震災を体験していない小学生が防災の大切さを考える場などで、今なお歌いつがれています。

また、外国語に訳されて海外でも歌われています。



47

1

お年寄りに、合唱の歌声を届ける活動を通して、世代を超えて交流している子どもたちの様子

2

音楽を演奏している人と、それを聴いている観客が一体となって盛り上がるステージの様子

3

大きな災害がきっかけで生まれた歌が、被災した人たちが勇気付けていることを紹介するコラム

6年 p.47

音や音楽と生活や社会との関わりを考える力が育ちます②

防災・復興との関わり

音楽の存在が、自分自身や周囲の人々を勇気付けたり、地域の人々をつなぐ絆となったりしていることを写真やコラムで紹介しています。

仙台フィルハーモニー管弦楽団
バイオリン奏者
神谷未穂さんのお話



5年 p.22・23

2011年の東日本大震災のとき、わたしは宮城県仙台市内でオーケストラの練習に参加していました。震災直後は生活が大変で、それまで毎日ふれていたバイオリンをケースから出せたのは5日後のことでした。楽器をひくと、まるで血がふつふつわくような感覚になり、地震に負けない気持ちが起こったのを覚えています。

そして、「音楽で何ができるのか」となやみながらも、被災地に仲間と音楽をとどけることを決意し、毎日のように演奏しました。多くの人と出会う中で、音楽には人を安心させ、いやす力があるとあらためて感じました。みなさんと音楽でいっしょになったとき、人と人を結ぶ「つながり」を強く感じます。音楽はみんなを一つにし、元気にしてくれます。

わたしたちが受けつぐ

郷土芸能



請戸の田植踊

(福島県双葉郡浪江町)

東日本大震災で被害を受けた、浪江町に伝わるおどりは、震災後も続けられ、ちいきの人たちの心をつないでいます。

4年裏表紙

復興と希望の歌



「しあわせ運べるように」は、兵庫県神戸市の小学校で音楽の先生をしている白井 真さんがつくりました。

1995年に起こった阪神淡路大震災がきっかけになって生まれた歌「しあわせ運べるように」を歌う小学生。

被災した人々を勇気付けたこの歌は、震災を体験していない小学生が防災の大切さを考える場などで、今なお歌いつがれています。

また、外国語に訳されて海外でも歌われています。

6年 p.47

6年 p.63 「あすという日が」

2011年3月の東日本大震災の直後、仙台市内の避難所で中学生によって歌われる様子がニュースで報じられたことをきっかけに、復興を願う歌、生きることのすばらしさをうたえる歌として広く歌われるようになった曲です。

すばら し い

あす とい う ひ が あ る か ざ り
あす とい う ひ が く る か ざ り

オリンピック・パラリンピックやスポーツとの関わり

視覚に障害のある人とない人とが力を合わせてプレーする「ブラインドサッカー」や「音の出るメダル」のコラムなどを通して、「音」や「声」の働きや役割について考えられるように配慮しました。

特集

音の働きや役割について考えよう

みなさんは、「ブラインドサッカー」というスポーツを知っていますか。「フットサル(5人制サッカー)」をもとにして生まれた競技で、ゴールキーパー以外の選手は目が見えない選手です。ブラインドサッカーは、視覚に障害のある人とない人が力を合わせてプレーする競技であるため、「音」と「声」によるコミュニケーションがとても重要です。



ゴールキーパー以外の選手は、アイマスクをしてプレーします。
提供：日本ブラインドサッカー協会



ブラインドサッカーのボールの中には、金属の小さな玉が入った円盤状のケースが入っていて、転がると音が出ます。

ブラインドサッカーの主な特徴

- 1 転がると音が出る特別なボールを使って、プレーする。
- 2 ボールを持った相手に向かって動くときには、「ホイ！」と声を出さなければいけない。
- 3 相手ゴールの裏側には、ガイド(コーラー)とよばれる、選手に声で情報を伝える人がいる。

おうえんする人たちは
静かに観戦していて、
声を出していいのは、
ゴールが決まったときだけ
なんだよ。



それには、
どんな理由があるのかな。
みんなて話し合ってみよう。



2016年にブラジルのリオデジャネイロで開かれたパラリンピックのメダルは、ふったときに金、銀、銅のちがいが聞き分けられるように工夫されていました。

音楽をきっかけにして子どもの興味・関心が広がります

音楽は、仕事や生活と結び付いて歌われたり、新しい価値や文化を生み出して人々に感動を与えたりします。小学生にもなじみのあるテーマを取り上げて、音楽をきっかけに教科等を越えた知識が関連付けられたりそれらが広がったりすることができるように特集やコラムを設けました。

音楽で子どもと生活や社会がつながる

表現するときに必要なこと

フィギュアスケートを通して、勇気と感動をあたえてくれる浅田真央さん。たくさんの方の心を引きつける演技と音楽との関係について、お話をうかがいました。

グランプリシリーズ NHK杯 (2015年)
♪ 歌謡「蝶々夫人」から
ある唄れた日に
(ブッチャーニ 作曲)

フィギュアスケートは昔、リンクに図形をえがく競技でしたが、今は音楽に合わせておどり、技を披露するスポーツです。すべりと技術、音楽と表現が合わさって、フィギュアスケートとなります。

音楽は、なくてはならない存在です。曲を選ぶときは、まず自分がすべるところを想像しながら音楽をききます。実際に、ラフマニノフのような力強い曲では、自分の心も強く保つことができ、後半のつかれが出

ソチオリンピック (2014年)
♪ ピアノ協奏曲 第2番
(ラフマニノフ 作曲)

る部分でも音楽がパワーをくれます。ふり付けをするときには、音楽の強弱やリズム、歌の歌詞の内容に合わせて動きやすり方も変えます。未来を意味するときには上を見上げる、感謝を表すときはおじぎをするなど、見て分かるふり付けもあります。表現するときには、動きに加えて自分の気持ちで表現したいことを強く思うことがいちばん大切だと思います。フィギュアスケートならではの動きやすりにも注目してみてください。

浅田真央
5歳からフィギュアスケートを始める。15歳でグランプリファイナル優勝。2010年バンクーバーオリンピック銀メダリスト、ソチオリンピック6位入賞。2017年の引退後はアイスショーなどでフィギュアスケートの魅力を伝えている。

5年 p.2・3

我が国に伝わる風習や風景を紹介する写真やコラム

古くから伝わる風習や風景などがうたわれている歌唱共通教材については、歌詞や曲が生まれた背景を紹介し、生活や社会との関わりを捉えやすくしました。



茶つみを体験するしゅぎょうの様子



3年「茶つみ」

3年 p.16・17

新茶のお話

春から初夏にかけて、お茶の木は新芽を出します。八十八夜にあたる5月2日のころに、その新しくやわらかい葉をつんで作るお茶は「新茶」とよばれ、人々はおかしから味やかおりを楽しんできました。



お茶をそそいでいる様子

時代をこえて受けつぐ 歌舞伎のこころ

日本だけでなく世界中で漫画、アニメとして人気を集める「ONE PIECE」。歌舞伎俳優の市川猿之助さんは、この作品をもとに歌舞伎をつくり、大成功をおさめました。歌舞伎の伝統を受けつぎつ、未来へ向けて新しい挑戦を続ける猿之助さんに、お話をうかがいました。



ルフィ：市川猿之助

スーパー歌舞伎Ⅱ「ワンピース」
2015年につくられた歌舞伎です。主人公のルフィが、仲間たちとともにいくつもの冒険を繰り返して行く物語です。漫画の漫画や最後に読まれる主題歌の「TETTOE」は、ゆずの北川悠仁さんがつくりました。

©松竹スーパー歌舞伎Ⅱ「ワンピース」パートナーズ



ルフィと仲間たち



猿九郎猿：市川猿之助

歌舞伎「義経千本桜」川達法眼館の場
江戸時代につくられた歌舞伎です。「川達法眼館の場」は、猿の親子の愛情をえがいた場面です。

鑑賞資料「日本の古典芸能」▶78ページ
「わたしたちが受けつぐ芸能
～猿兵衛山まつり 子供歌舞伎～」▶裏表紙

演じるときに大切なこと

わたしは歌舞伎を演じるとき、新作でも古典でも形式にとらわれず、登場人物の気持ち表現することを大切にしています。新作には古典の要素がたくさん入っていますし、古典にも常に今の時代に合った変化が求められます。そこに共通するのは、やはり「気持ち」だと思います。



市川猿之助

1980年に「義経千本桜」の安福巻役で初お目見。1983年に二代目市川猿九郎を名のり初舞台。2012年に四代目市川猿之助を襲名。歌舞伎のほか、テレビや映画などでも幅広く活躍している。

新しい歌舞伎をつくる

古典を知らずに新しいものをつくることは、とてもきびしい挑戦です。クラシック音楽が今の時代の音楽の「もと」にあるように、歌舞伎でも古典を知らずに新作をつくることはできません。新しいものをつくるるときほど、昔から伝わるすばらしい部分を取り入れています。

歌舞伎の魅力

歌舞伎は、数百年の時を経て現代に伝わり、今も昔も変わらない人間のさまざまな感情を表現して、人々の心を打ち続けています。音楽、踊り、お芝居が一体となったエンターテイメントである歌舞伎を、みなさんどうぞ楽しんでください。

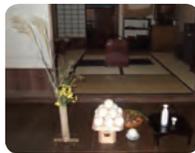
6年 p.2・3

3年「うさぎ」

3年 p.33

十五夜のお話

むかしのこよみで、毎月15日の夜のこよみを十五夜といえます。秋の十五夜のころの月は、たいへんうつくしいとされています。むかしから、月にうかび上がるもようを、うさぎがもちをついている様子にたとえて、人々はお月見を楽しんできました。



お月見のおそなえ



かわら屋根が波のように連なる様子（岡山県倉敷市）
いんらめ



たちばな花

5年「こいのぼり」

5年 p.14・15

こいのぼりのお話

▶「こいは急流を登ってりゅうになる」という中国の古い言い伝えがもとになって、五月五日（端午の節句）にこいのぼりを立てる習わしが始まったといわれています。子どもたちが元気に育つようにと願って、その習わしは今も続いています。



歌川広重の作品
「名所江戸百景 水道橋横河台」

音楽とのいろいろな関わり方について触れられます

子どもたちの身の回りには、地域のお祭りのときに演奏される音楽もあれば、音楽を仕事にしている専門家たちによって演奏される音楽もあります。鑑賞資料には、地域に根ざして活動しているオーケストラの写真に掲載するなど、子どもたちが将来、どのようなかたちで音楽との関わりをもつかを考える際の選択肢を増やせるように配慮しました。

音楽とのいろいろな関わり方

オーケストラの鑑賞教材のページでは、地元の高校生とプロのオーケストラと一緒に演奏している様子を紹介しました。

また、巻末では、吹奏楽を紹介する写真として、消防音楽隊が活動している様子を掲載しました。



5年 p.26・27



鑑賞資料（地域に根ざしたオーケストラの写真の例）

- 3年 p.48・49 金管楽器の紹介 大阪フィルハーモニー交響楽団
- 4年 p.52・53 木管楽器の紹介 広島交響楽団
- 5年 p.22・23 弦楽器の紹介 仙台フィルハーモニー管弦楽団
- 6年 p.76 オーケストラの楽器紹介 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

音楽で 子どもと子どもが つながる

声を合わせて歌ったり
気持ちをそろえて演奏したりすることの
楽しさに気付く。
友達とアイデアを伝え合うことによって、
自分では思いつかなかった考えに気付く。
そういった協働的な学習、対話的な学習を通して、
音楽を学ぶことの楽しさを実感できるように配慮しました。

スタートカリキュラムに配慮した導入です

スタートカリキュラムへ配慮し、小学校に入学したばかりの1年生が、幼稚園や保育園などでの経験をしながら安心して授業に取り組めるように、教材の配列を工夫しました。

1年生の導入

1年 p.6 ~ 11



挿絵をヒントにして、知っている歌を探して歌う。



【知っている歌のため、初めての授業でも安心して歌うことができます。】



友達と一緒に歌ったり聴いたりしながら、体を動かしたり手を打ち合ったりする。



【友達づくりに自然につながります。】



輪遊び歌を活用し、グループやクラスで歌う。



【グループ活動を通して、声を合わせて歌う学習に段階的に慣れることができます。】

対話的な学びで、子どもの気づきや学びが広がり深まります

「何に注目し、どんなことを考え、どのように工夫すればよいのか」が分かると、子どもたちは自分で考え始め、表現を工夫したり音楽に耳を傾けたりするようになります。音や言葉を使って、気付いたことやアイデアを友達と交換することを通して学びが深まるように、子どものキャラクターによる吹き出しを充実させました。

友達との対話を通して

子どもどうしの言語活動の内容が充実するように、学習のねらいの達成に向けて考えてほしい内容や、発言の例を吹き出しで示しています。

3年 p.56・57

7 音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。

音楽づくり まほうの音楽

1 3～4人の組になって、ひびきの長さや音色のちがいを生かして、「まほうの音楽のもと」をつくりましょう。

(1) いろいろな楽器の音を鳴らして、ひびきの長さや音色のちがいをきくらべながら、自分のイメージに合う音をさがしましょう。

トリアングル キロ すず てっさん シンバル ウィンドチャ임 小だいこ

(2) ひびきの長さや音色を考えながら、楽器の鳴らし方をくふうして、「まほうの音楽のもと」をつくりましょう。

どんな音色にしたらまほうの感じに合うかな。
まほうがせいこうする感じを出すには、強さをどうすればいいかな。

言葉や図で表した「まほうの音楽のもと」

れい てっさん シンバル トライアングル 小だいこ
シャラララン ジャーン チリリリリ… トントントン

2 「まほうの音楽のもと」の組み合わせ方や重ね方をくふうしながら、くりかえしを使って、「まほうの音楽」をつくりましょう。

くりかえして鳴らして、まほうの力が強くなる感じにしようかな。
トライアングルを重ねて、キラキラ光る感じを出したいな。
さいごに小だいこを重ねて、まほうがかった感じを出したいな。
くふうするときには、強さをええたり、楽器の組み合わせ方をええたりするといいよ。

3 つくった「まほうの音楽」を入れて、「おしこのすきなまほう使い」(▶ 54ページ)を歌いましょう。

どんな音色にしたらまほうの感じに合うかな。

まほうがせいこうする感じを出すには、強さをどうすればいいかな。

くりかえして鳴らして、まほうの力が強くなる感じにしようかな。

トライアングルを重ねて、キラキラ光る感じを出したいな。

さいごに小だいこを重ねて、まほうがかった感じを出したいな。

音楽で子どもと子どもがつながる

音楽科の特質に合った言語活動が充実するように、言葉によるコミュニケーションに加えて、音によるコミュニケーションを図れる教材やコラムを設けて、音や音楽を通して、子どもたちの対話的な学びが深まるように配慮しました。

音による コミュニケーション を通して

友達とお話するように楽器を演奏するという、音楽づくりの活動を通して、楽器の音色の面白さを共有します。

また、リコーダーの合奏では、互いの音をよく聴き合うことで、音も気持ちも一つにそろえてアンサンブルする活動の楽しさを体験します。

7 がつきの 音の くみあわせを 楽しみましょう。

7 音楽づくり **がつきて おはなし**

- 下の がつきの中から すきなものを 1つ えらび、
ア、イ、ウ、エの **リズム**を うちましよう。
- 気に入った **リズム**を 2つ えらび、ならす **じゅんばん**を
きめましよう。
- いろいろな ともだちと 2人で くみに なり、
はくに のって おはなしする ように ならしましよう。

れい

よひかける やく
イ ア

こたえる やく
ウ エ

あたらしく おほえる こと
ターアー 2分音ぶ

かいてみよう
ほかの かきかたも あります。

あ→**ア**の **じゅんばん**に
ならそうかな。

ウは、**タン布林**を ぶって
音を のぼして みたいな。

46 47

2年 p.46・47

合わせよう

- リコーダーを何人かで演奏する場合には、自分の音やみんなの音をよくきくことが大切です。例えば、吹いた音をみんなて「見る」ような感じで、音を合わせてみましょう。



自分の吹いた音を
「見る」感じて吹く



みんなの音を1点に集めるイメージで
音を合わせる



みんなて合わせた音が
1つのきれいな音になる

5年 p.17

音楽を通して心がつながります

一つの音楽を友達と一緒に作り上げたり、心を込めてみんなで歌ったりするなど、音楽の楽しさを感じながら、協働的な学習を進められるように工夫しました。

協力して音楽をつくる活動を通して

自分がつくった旋律を友達がつくった旋律とつなげて、まとまりのある旋律をつくる学習を設けました。

5つの音で、せんりつをつくりましょう。

2人でせんりつづくり

1 下の5つの音とリズムを使って、4拍子で2小節のせんりつを2つ作りましょう。最後は カ の音で終わらせます。

使う音: ド レ ミ ファ ソ ラ

せんりつをつくるリズム

2 2人の組になって、つくったせんりつをつなげましょう。

1) それぞれのつくった2小節のせんりつをすべてつなげて、8小節のせんりつをつくりましょう。

つなげ方をくふうした例

2) くり返しを使って、まとまりのある8小節のせんりつをつくりましょう。

くり返しを使った例

ワークシート

えらんだ音を下の \bigcirc や \square に書きましょう。

4年 p.60・61

4年 p.60・61

音楽で思いを伝える

表現の工夫を考える際に、音楽を聴いてくれる人たちの存在について、あらためて考えることができるように工夫しました。

音楽で思いを伝えよう

あふれる思いを表現するとき、その思いはきいている人の心にきくと届きます。思いを伝えるためのヒントは音楽の中にたくさんあります。音楽と向き合い、気付いたり感じ取ったりしたことをもとにして表現を工夫しながら、気持ちをこめて歌ってみましょう。

6年 p.9

卒業に思いをこめて

だれに伝えますか。

どのような気持ちを伝えますか。

6年間の小学校生活で、いろいろな人と関わり合いながら、みなさんは成長してきました。

卒業するにあたり、先生や家族など身近な人たちへの感謝の気持ちをこめて演奏するときに、音楽の学習で身に付けてきた力を生かして、気持ちが伝わるように表現を工夫しましょう。

「卒業式」や「卒業を祝う会」などで、その思いを音楽で表現してみましょう。

音楽でどのように気持ちを伝えたいかな。



6年 p.53

音楽の学びが つながる

子どもたちの中で
学んだことが実感をもってつながり、
学習を積み重ねていくことができるように、
全学年を通して
段階的、系統的に学習が進められる題材により
教科書を構成しました。

音楽科で育成する学力を確かなものにします

新学習指導要領において、育成を目指す資質・能力は、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理され、音楽科においても教科の目標・内容が再整理されました。

新しい教科書では、子どもたちの「気付く・分かる(知識)」「できる(技能)」と、“このように演奏したい”“この音楽がすてきなのはこういう理由だから”というような「思いや意図をもつ(思考力、判断力、表現力等)」活動をしっかりと関わらせつつ、「楽しみながら音楽の学びと向き合う(学びに向かう力、人間性等)」ことができるように編集しました。

分かった!



「気付く・分かる」
をサポート

学習の目当てを分かりやすく文章で説明したり、体の動きを取り入れたりして、子どもたちが実感をもって理解できるように工夫しました。

ここを工夫してみようかな。



ここが曲の魅力
だと思うな。



「思いや意図をもつ」
をサポート

キャラクターの吹き出しで学習のヒントを示したり、工夫するポイントや意見交換する観点を記したワークシートを例示したりしました。

学びを

つなぐ



できた!



こう歌いたい。

「できる」
をサポート

歌ったり楽器を演奏したりする技能の習得をサポートするために、演奏家のアドバイスやベテランの先生方のアイデアを取り入れました。

【本書 p.28 ~ 33 参照】

学習を支える
キャラクターの
吹き出し

子どもたちの気付きや思考を促す内容を充実させました。

ヒントを出したり考えるきっかけを示したりして、子どもたちの学習をサポートします。



ミューちゃん



ジック君



タンブ博士

活動を深めたり広げたりします。

主体的な学びをサポートします

子どもたちが主体的に学習に取り組めるように、「何を学ぶのか」を分かりやすく提示しました。また、年間を通しての学習の見通しをもてるよう、巻頭にその概要を「学びの地図」で示し、さらに巻末には、「ふり返りのページ」を設けて、学習したことを確認できるように構成しました。



4年生では、
こんなことを
勉強するんだね。



4年 p.2・3

1年間の
見通しを
もつ

学年の始めに
その学年で学習する内容
について、大まかなイメ
ージをもつことができます。

学んだことを
振り返る

学期末や題材の
まとめりと
学習したことを振り返
って確認したり関連付け
たりすることができます。

いろいろなことを
思い出せて、
便利だな。



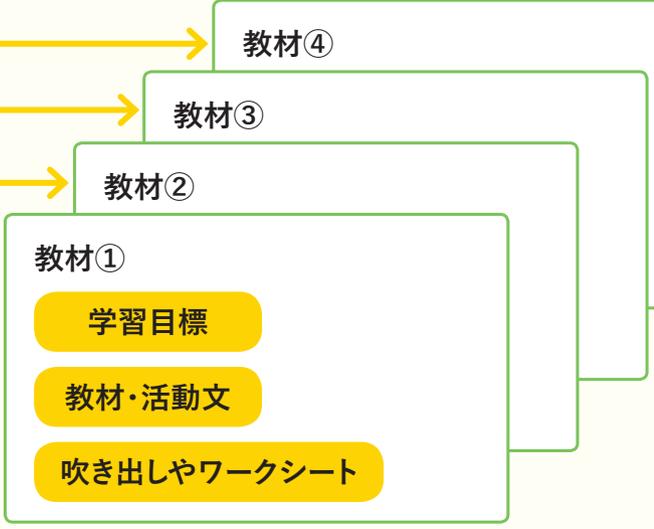
関連事項の振り返りに
学習したことを振り返って
活用することができます。

4年 p.82・83

学びが
つながる
題材構成

教芸の題材は、学んだことを関連付けたり活用したりすることができるように、音楽を形づくっている要素を中心に、各教材が結び付けられて構成されています。

題材のねらい



4年題材7 p.48～55

学んだことが
つながっていく

日々の授業で
見通しをもつ

日々の授業において

各ページでは、何をねらって学習するのが、学習目標や活動文によって分かりやすく示されているので、見通しをもって学習に取り組みます。

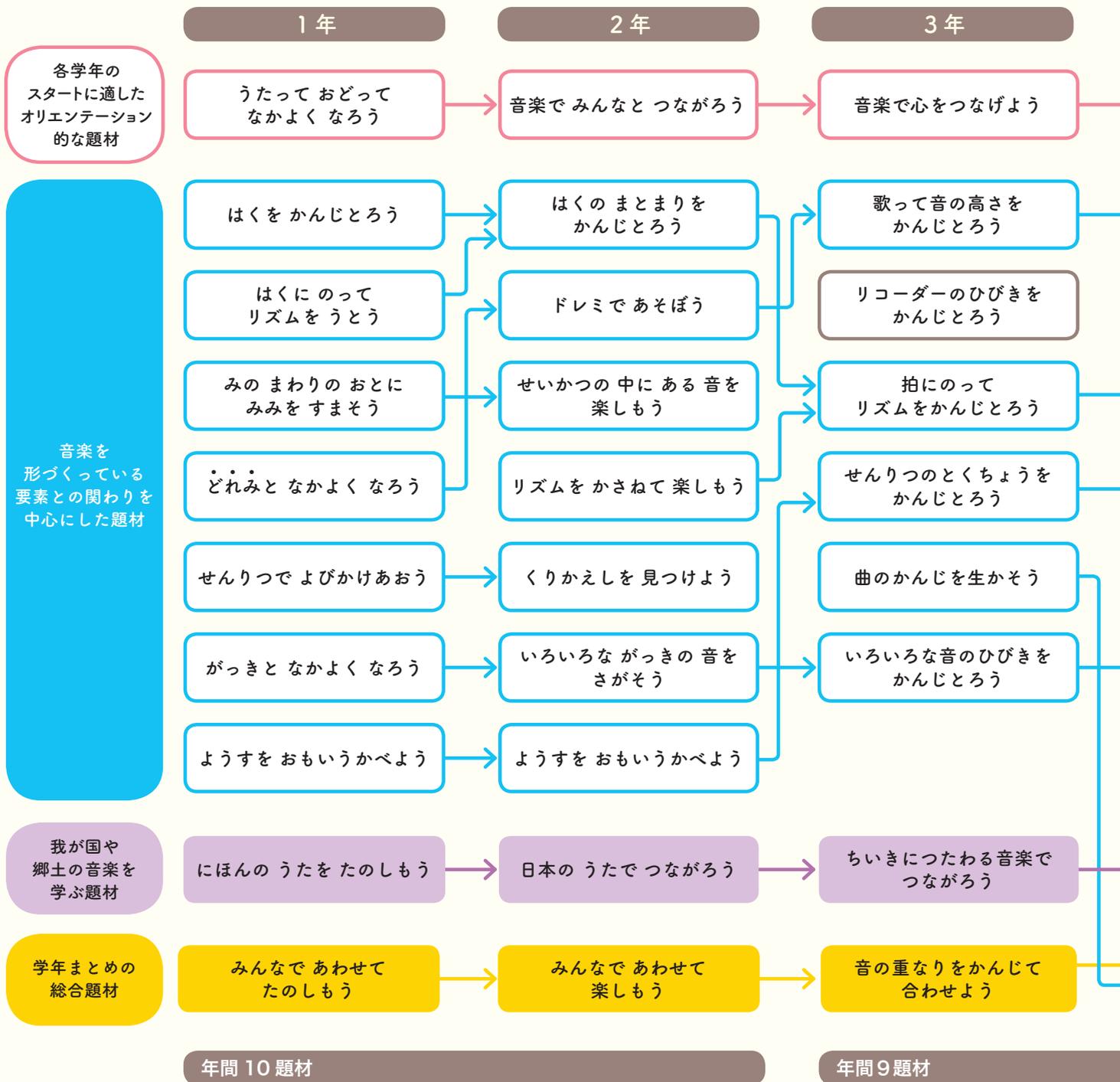
音色 強弱 音の重なり たてと横との関係

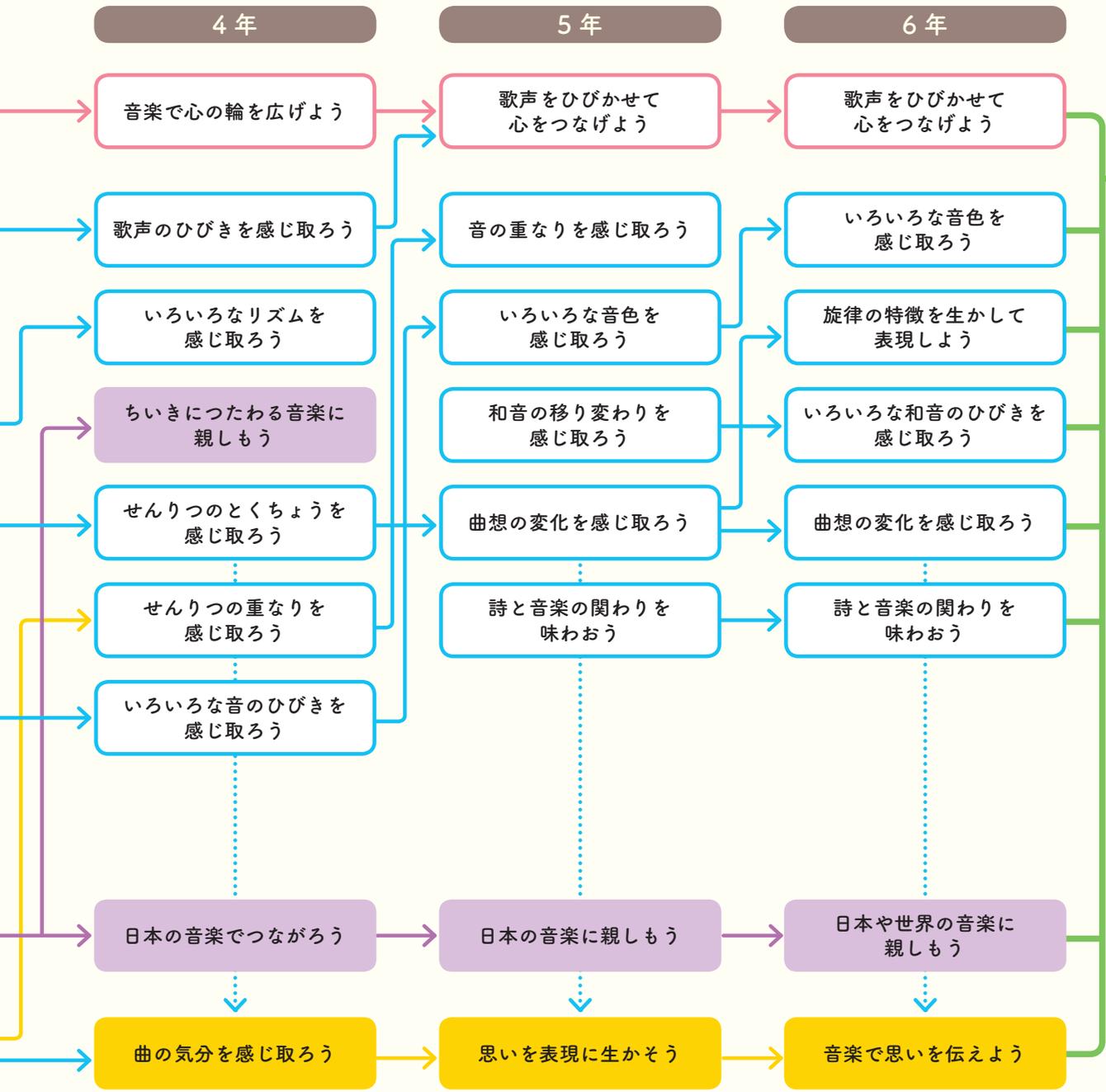
教材を指導する際の目安となる、〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素をページ下に示しました。各学年で学習したものは、「ふり返りのページ」にまとめられています。

系統的な題材構成により，6年間の学びが積み重なります

題材は，学年内での学習のバランスを考慮して構成されており，学年間の関連も下図のように系統立ててあります。そのため，子どもたちの発達段階に応じて「音楽的な見方・考え方」を働かせながら学習を積み重ねていくことができます。

音楽の学びがつながる





中学校へ
小学校と中学校を通した9年間の学びのつながりにも配慮しています。

年間8題材

指導の手だてやノウハウを引き継ぎます

教科書の役割の一つとして、経験豊富な先生方がお持ちの経験やノウハウを、若い世代の先生方へ引き継いでいくために、指導の手だてやアイデアを掲載しました。

掲示物のアイデア

目で見る事ができない音楽を子どもたちと共有するためには、板書や掲示物が役に立ちます。

ここでは、旋律の特徴を感じ取るためのアイデアを紹介しています。

5 **ふじ山** 文部省編歌 藤田小波 作詞

♩ 92~100

1 あ た ま を く も の う え に だ し
2 あ お ぞ ら た か く そ び え た ち

し ほ う の や ま を み お ろ し て
か ら だ に ゆ き の き も の き て

か み な り さ ま を し た に き く
か す み の さ ん を と お く ひ く

ふ じ は に っ ぽ ん い ち の や ま

● 曲の中で気持ちがいちばんもり上がるころを、曲の山といえます。「ふじ山」の曲の山をさがしてみましょう。

曲の山では、音が高くなったり低くなったりすることが多いよ。

1 せんりつを指てたどりながら「ふじ山」を歌って、音の上がり下がりを感じとりましょう。 いちばん高い歌はどこにあるかな。

2 気持ちがいちばんもり上がるころを、じっさいに歌いながらさがしましょう。

● 見つけた曲の山をかんじながら、声の強さや出し方をくふうして歌いましょう。 音の強さや出し方にも注目してみよう。

さまざまな場所から見たふじ山

高はたけとふじ山 (静岡県)

田貫湖にうつるさかさか (静岡県)

夏のふじ山と芦ノ湖 (神奈川県)

上から見たふじ山

3年 p.40・41

鑑賞学習のアイデア

鑑賞の定番教材になっている「待ちぼうけ」では、歌詞や旋律、その表現に注目しながら、作詞者、作曲者、演奏者の視点から鑑賞する学習方法を紹介しています。

6 「待ちぼうけ」の作詞者、作曲者、演奏者が、それぞれどのような工夫をしているか見つけましょう。

作詞者
北原白秋さんの工夫は？

詩を声に出して読んでみよう

作曲者
山田耕筈さんの工夫は？

歌ってみよう

演奏者
歌手や伴奏者の工夫は？

さいたり、まねたりしてみよう

工夫を見つけるために…

見つけるポイント

- ▶ 1～5番に共通する言葉
- ▶ 主人公の気持ちが表れている言葉
- ▶ 七五調の言葉のリズム など

見つけるポイント

- ▶ 旋律のリズム
- ▶ 音の上がり下がり
- ▶ <リ返される旋律のまとまり など

見つけるポイント

- ▶ 気持ちを表す言葉の歌い方
- ▶ 間奏、音色、気持ちなどの変化の表現
- ▶ 曲の山の表現 など

● 「待ちぼうけ」をさいたり歌ったりして、それぞれの工夫がどのように関わり合っているのか話し合ってみよう。

● 最後にもう一度さいて、心に残ったことを書きましょう。

作詞者や作曲者など、創作した人の工夫を考える活動を通して、著作者を尊重する態度も育みます。

5年 p.46

常時活動の アイデア

リズムの学習活動は「常時活動」として扱くと、拍感やリズム感が育成されるだけでなく、他人と合わせて演奏するアンサンブルの技能が高まったり、音楽づくりに活かせる発想を得たりすることもできます。

2～4年には発達段階や学習内容に応じた教材を掲載しました。



リズムでなかよくなるう

- 拍の^まつて、先生やリーダーの^う打つリズムをみんなてまねて、手拍子で打ちましょう。

リズムのれい



- ステップ①** 先生の打つリズムをまねて打ちましょう。



- ステップ②** 先生やリーダーの打つリズムをリレーして打ちましょう。



2つのリズムを
組み合わせて
長くしてもいいね。

じゅぎょうのはじめに
少しずつやろう。



リズム | 拍 7

「常時活動」の活用について

気持ちや体をほぐして授業に入ることができるように、授業の始めの3分程度の時間を使って、少しずつ活動を積み重ねていきます。

- 毎回の授業の始めに、リズムマシンなどに合わせてリズム打ちを楽しむ。



- 慣れてきたら、次のステップに進む。



- さらに慣れてきたら、速さや強弱を変えてみる。

3年 p.7

他学年の例

2年生 p.15, p.17

4年生 p.7

思いや意図をもって表現する力を育てます [歌唱の例]

技能の習得をサポートするコラムや体を動かす活動を示したり、学習のステップを丁寧に設定したりすることで、「こう歌いたい」という思いや意図に合った表現をするために必要な歌唱の技能の育成につなげました。

体を動かす活動を 取り入れる

音の高さの違いを、手の動きと関連付けて音程感を育てる「ドレミ風船」のアイデアや、和音の響きの違いを体の動きで感じ取る「和音体操」などの学習方法を示しました。



音の高さの違いを手の動きを利用して確認する。

それぞれの和音が生み出す響きの違いを、体の動きで感じ取る。

和音を確かめよう

- 1のパートを楽器で演奏して、それぞれの和音のひびきを確かめよう。
- 和音の移り変わりを感じ取りながら、旋律を歌いましょう。



伴奏をききながら体を動かして、和音のひびきのちがいを感じ取ってほしいね。



5年 p.34・35

合唱の技能を 育てる系統性

1年

交互唱

2年

輪唱

3年

オスティナート唱

思いと技能をつなぐ

学習目標の達成に向けて、どのような活動をすればよいのかを丁寧に示し、適宜、技能をサポートするコラムを掲載しました。

● せんりつ①の音の上がり下がり強さの関係をたしかめて歌いましょう。

例 ②の前半上のパート（③の部分）

p mp mf f

ハル デリ ハル デラ ハル デロ ハル デロホホホホ

強さを表す記号
● 19ページ、21ページ

● ④と⑤のせんりつ⑥のとくちょうに合う歌い方をくふうしましょう。

スタッカートがついているところは、はすむように歌いたいな。

ほは⑦にくらべて、のひやかな感じがするね。

歌声⑧

● スタッカート⑨のところは、わらったときのようなおなかの動きを感じて、軽くはすむように歌いましょう。また、言葉があいまいにならないように、はっきりと発音して歌いましょう。

口ずかすホホ

4年 p.35

歌ったり楽譜を見たりして、音楽の特徴を捉える。

子どもたちが「こう歌いたい」という思いをもつ。

思いを実現するために役立つ技能を習得・活用する。

知識

つなぐ

思考

つなぐ

技能

技能をサポートするコラム

歌詞の内容や自分の思いをきちんと伝えるために、声の出し方や発音の仕方に関するコラムを各学年に配置しています。

歌声③

● 「ほほ」や「かわ」のように、同じ母音ぼいんが続くところでは、その前の子音しいん いしきを意識して発音するようにすると、言葉がはっきりと伝わります。

ほ ほ え み か わ して
ho ho e mi ka wa shite

母音：ローマ字で書いた場合の「a i u e o」の5つの音のこと
子音：母音の前に付く「h」「m」「k」などの音のこと

5年 p.38

他学年の例

1年生 p.19	4年生 p.11, 35
2年生 p.21	5年生 p.11
3年生 p.36	6年生 p.11

4年

パートナーソング

二部合唱

5年

部分三部合唱

6年

三部合唱

中学校の混声合唱へ

主体的で意欲的な学習を引き出します [器楽の例]

演奏家によるワンポイント アドバイスや、合奏するときに必要なヒントを示したコラムを設けるなど、子どもたちが主体的に学習を進められるように配慮しました。

リコーダー

子どもたちが音の出し方をイメージしやすいように、イラストを使って説明しています。

リコーダーで「し」の音をふきましょう。

3 **音の出し方**

タンギング

「tu」と言うときのように、したの動きを使って音を出したり止めたりすることをタンギングといいます。

1 ないしょ話をするときのように「tu—」と言いながら、息を出したり止めたりしましょう。

息を出す **息を止める**

★したを、上のはやくきのうらがのみに当てて、息のながれを止めます。

2 「し」の音を「tu—」とふいて、「(t)」で音を止めましょう。

息を出す **息を止める**

息づかい

- 大きなしゃぼん玉をつくるようなつもりで、やさしく息を出してふきましょう。

3年 p.22

てひくい音をふくときのポイント

リコーダーでひくい音をふくときは、「tu—」と言うときのように、やわらかい息でふきましょう。

下あごが下がらないように気をつけよう。

「tu」のタンギング **「tu」のタンギング**

上のホースからながれる水の流は、息のながれの様子を表しているよ。「tu」のタンギングとくらべて、「tu」のタンギングの息のながれはどんなになっているかな。

- タンギングや息のながれに気をつけてふきましょう。

練習 ♪ ♪ ♪

あはる とじる

3年 p.45

演奏家からのワンポイントアドバイス

リコーダーをえんそうするときには、歌うようにふくことが大切です。曲のかんじをつかむために、せんりつを「tu」で歌ってみるといいですよ。



リコーダー奏者の吉澤 実さん

3年 p.25

子どもたちの思考を促すコラム

パートの役割 この曲の ①②③④ のパートは、下の4つの役割を受け持っています。演奏をきいて、それぞれのパートの役割や旋律の特徴を確かめましょう。

主な旋律 合奏全体の中で最も大切な旋律のパート

かざりの旋律 主な旋律をかざるように寄りそう別の旋律のパート

和音 合奏全体のひびきを豊かにするためのパート

低音 合奏全体のひびきを支えながらリズムを刻むパート

それぞれのパートの音の動きやリズムには、どんな特徴があるかな。

パートの番号を書こう

6年 p.18・19

パートの役割を生かして演奏するために必要なことについて考えながら、学習を進められます。

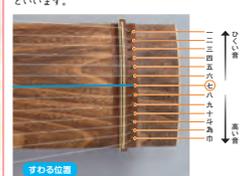
和楽器 (箏)

中学年から始まる和楽器の学習では、箏を取り上げ、共通教材や鑑賞教材と関連させながら学習できるようにしています。

ことをついてみよう

● 8ページで歌った「さくら さくら」をことをついてみましょう。

糸の名前 下の図のようにすわる位置から見て、向こう側から手前に向かって順に、一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 半 為 巾 といえます。



すわる位置 真ん中にあるのが七の糸だよ。

ひいた音をよくききましょう。とくに、同じ音をつけてひくときには、つめが糸にふれて「ビリッ」という音が入らないように気をつけましょう。

こと奏者の遠藤千晶さん

五	五	五	七	八
六	四	四	七	八
八	五	五	八	
五	六	六	七	
五	五	五	七	
五	四	三	八	
五	三	三	八	
七	七	七	七	
七	八	八	八	
七	八	七	七	
八	七	六	六	
八	八	八	八	
七	七	七	七	

つめをはめよう 右手の親指、人さし指、中指につめをはめます。つま度がつめの根元までくるように、深めにはめましょう。



ことの前にはらう

角つめを使う場合 右ひざの外側が膝の部分に当たるように

丸つめを使う場合 高ひざが膝の部分に当たるように

ことをついてみよう 「さくら さくら」は、親指だけでひきます。電筒より2~3cm左のところに、糸を向こう側におすようにしてひきましょう。



角つめを使う場合のつめの当て方 つめの角でひく。

丸つめを使う場合のつめの当て方 つめの尖でひく。

人さし指、中指、薬指は、親指でひく糸の3~5本向こう側の糸にそえておこう。

ことに対して少しななめにすわる。

ことに対して正面に向いてすわる。

こと奏者の名前 ▶ 67ページ

4年 p.58・59

演奏家からの ワンポイント アドバイス

ひいた音をよくききましょう。とくに、同じ音をつけてひくときには、つめが糸にふれて「ビリッ」という音が入らないように気をつけましょう。



子どもたちの 意欲を引き出す 合奏教材

手拍子で演奏することができる合奏教材をはじめ、子どもたちの意欲を引き出す合奏教材を開発しました。

手拍子のリズムを重ねて えんそうしましょう。

● 拍にのって、気持ちに合わせてえんそうしましょう。

クラッピング ファンタジー 第7番
楽しいマーチ

♩ = 116~126 長谷部淑俊 作曲

[始めのかけ声] (1人で)

ワン トゥー ワン トゥー スロー フォー



合わせよう

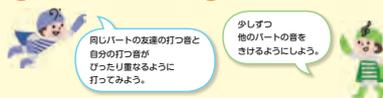
● 息の合ったえんそうをするために、2つの「耳」を育てましょう。

① とりのり友達の音をよくきく耳

② クラス全体の音をよくきく耳

同じパートの友達の打つ音と自分の打つ音がぴったり重なるように打ってみよう。

少しずつ他のパートの音をきけるようにしよう。



4年 p.20・21

5年生の巻末 p.74~77には、鑑賞教材 p.29 とリンクさせ、高校野球の応援にも使われる「アフリカン シンフォニー」を掲載しました。

積み重ねの学習によって創造性が伸長します [音楽づくりの例]

子どもたちが「何を」「どう工夫して」音楽をつくれればよいのかという見通しをもてるように、作品例や様々なアイデアを例示し、思考・判断しながら、主体的に学習に取り組めるようにしました。

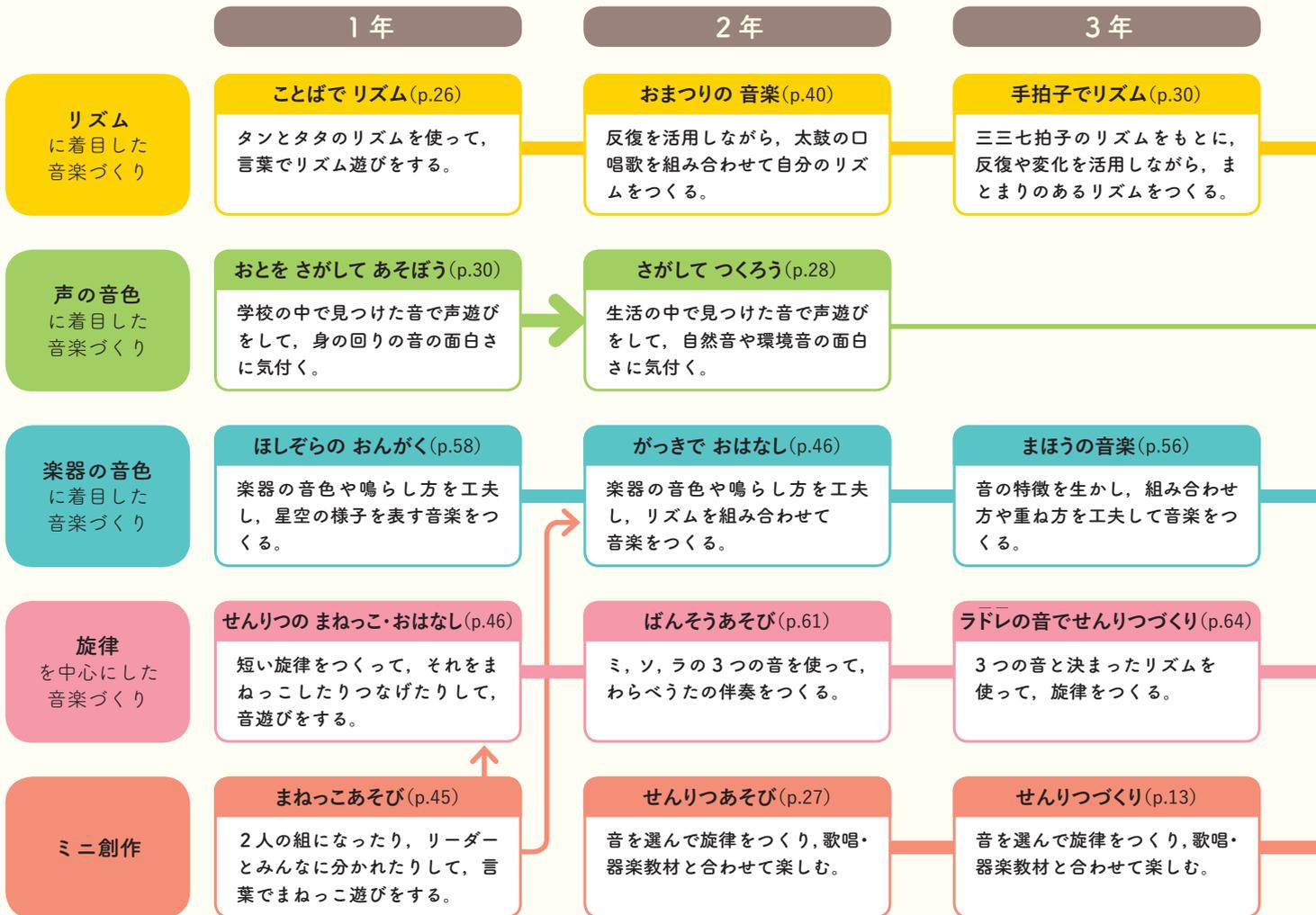
工夫すべき
ポイントを
分かりやすく



学びが積み重なる「音楽づくり」の学習の流れ

5年 p.30 ~ 33

音楽の学びがつながる



音の特徴に気を付けながら、グループごとにアンサンブルに使う楽器を選びましょう。

楽器の組み合わせ例

木で叩く楽器、金属で叩く楽器、皮が張った楽器、いろいろな材質の楽器

選んだ楽器を使って下の○→○のリズムを重ねて演奏し、ひびきの組み合わせを確認しましょう。

楽器の組み合わせを変えて、ひびきの感じのちがいを体験するときは、ひびきをもとに行ってみよう。

カハサ、ボンゴ、コンガ、カウベル、アゴコー

選んだ楽器でリズム1～リズム6を演奏し、好きなリズムを1つ選びましょう。

選んだリズムを3人で重ねて演奏し、重なり合うひびきやリズムのおもしろさを確認しましょう。

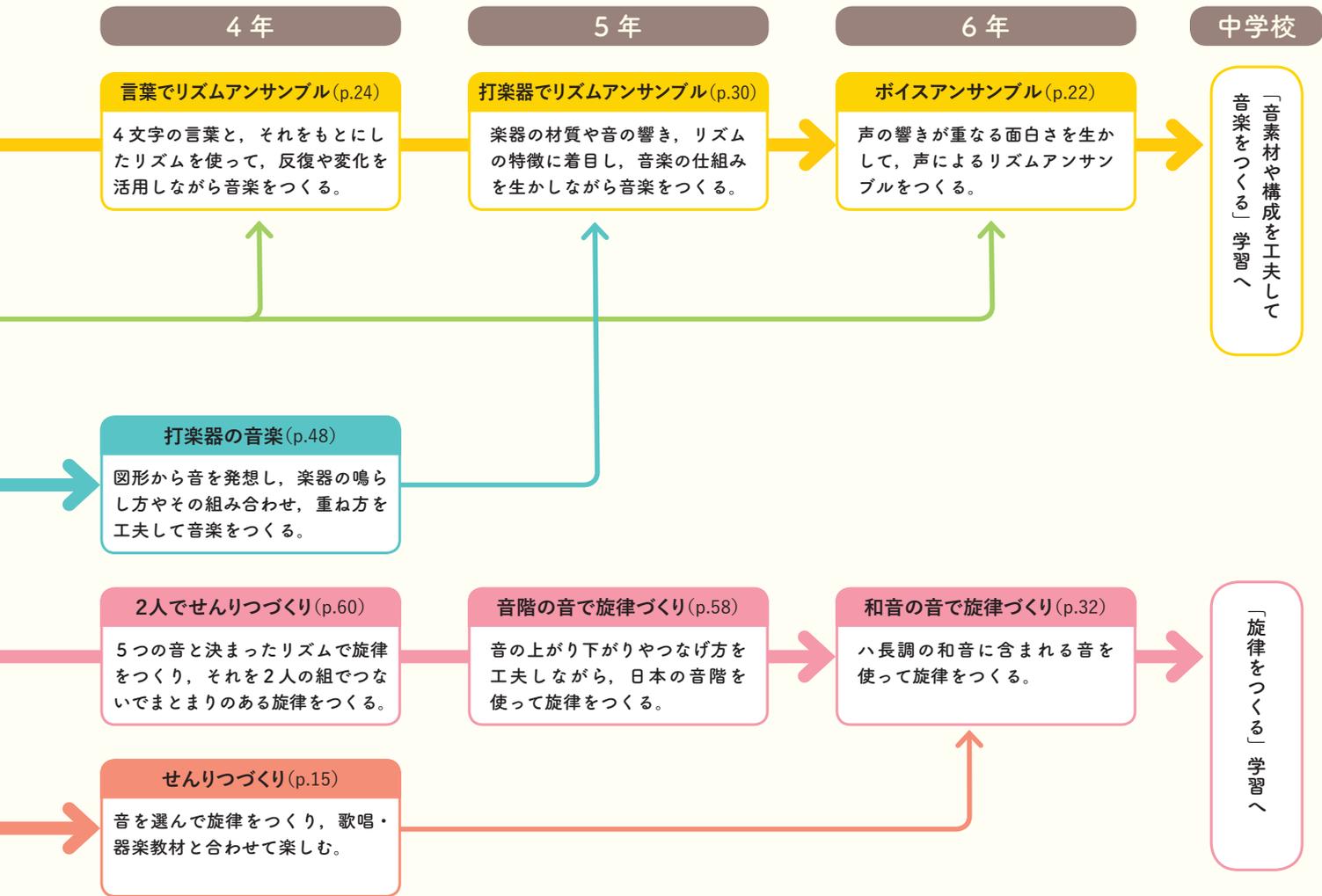
自分のリズム	選んだリズム
	リズム1 (B)
	リズム2 (A)
	リズム3 (B)

ワークシート

名前	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	リズム

プログラミング的思考を働かせる

自分の意図したとおりになるように、リズムパターンや音色の組み合わせを考え、試行錯誤しながら改善していくことができる教材を設け、音楽科におけるプログラミング的思考が働くように配慮しています。



様々な教材で多様性が育ちます [鑑賞の例]

聴く目当てを分かりやすく示し、聴き取り、感じ取ったことを友達と共有しやすくしました。また、意見の交流を通して、より深く音楽を理解できるように配慮しました。さらに、郷土に伝わる音楽をはじめとして、多様な鑑賞教材を取り上げ、子どもたちが音楽文化の多様性を理解することができるように配慮しました。

聴くねらいが
分かりやすい

学習目標や活動文に加え、楽器のイラストや写真を示し、鑑賞のねらいを捉えやすくしています。

8 祭りばやしに親しみましょう。

● 祭りの音や、音楽のふんいきをかんじとりましょう。

● 祭りばやしは、お祭りをもり上げるための音楽です。日本の各地にはいろいろなお祭りがあり、それぞれとくちとくちのある祭りばやしが行われています。

祇園囃子

京都府にある八坂神社で行われる祇園祭の祭りばやしです。祇園祭はともにもおもしろいお祭りです。祭りをえんそうする人たちをせた山鉦こぎ町をまわります。



使われている楽器



ねぶた囃子

「ねぶた囃子」は、青森市で行われる青森ねぶた祭りの祭りばやしです。ねぶたは人間などの形をしたもので、お祭り多き町の祭りをえんそうする人たちといっしょに町をまわります。



使われている楽器



各地の祭りばやし

山形 ねぶた囃子 (青森県)	秋田 山形囃子 (山形県)
岩手 ねぶた囃子 (岩手県)	宮城 ねぶた囃子 (宮城県)
秋田 ねぶた囃子 (秋田県)	山形 ねぶた囃子 (山形県)
宮城 ねぶた囃子 (宮城県)	福島 ねぶた囃子 (福島県)
山形 ねぶた囃子 (山形県)	福島 ねぶた囃子 (福島県)
山形 ねぶた囃子 (山形県)	山形 ねぶた囃子 (山形県)
山形 ねぶた囃子 (山形県)	山形 ねぶた囃子 (山形県)

3年 p.58・59

楽器の音色に注目して聴き、郷土の音楽に親しみます。

音楽の学びが
つながる

3 主な楽器を演奏する楽器に矢を付けながら「祝典序曲」をききましょう。

金管楽器 が活躍する部分



金管楽器のファンファーレは、はなやかに感じられます。

木管楽器 が活躍する部分



曲の中心となるような木管楽器が活躍します。

弦楽器 が活躍する部分



その中心となるような弦楽器が活躍します。

打楽器 が活躍する部分



金管楽器が響かすリズムで演奏します。

このあと、弦楽器、金管楽器、木管楽器、打楽器がかわるがわる登場して、音楽をもり上げていきます。

もう一つの主な楽器が登場します。

最後の部分では、金管楽器のファンファーレがもう一度演奏されます。

音の響きによって、よかたよかたを感じてみよう。

祝典序曲で使われる楽器

木管楽器	金管楽器	打楽器	弦楽器
ピッコロ	トランペット	ティンパニ	バイオリン
フルート	ホルン	トリアングル	ビオラ
オーボエ	トロンボーン	小太鼓	チェロ
クラリネット	チューバ	シンバル	コントラバス
ファゴット		大太鼓	
コントラファゴット			

5年 p.28・29

何を聴き取り、何を考えるのかを、ワークシートで分かりやすく示しています。

音楽の構成を捉えやすいよう、譜例と楽器の写真等を効果的に使って示しています。

6 言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、日本の歌を味わいましょう。

● 歌詞と旋律が一体となって生み出す曲感を味わいながらききましょう。

花

詞：新井白石 作：長岡半蔵



「花」は、春の訪れを告げる歌です。新井白石の詞と長岡半蔵の曲が、春の情景を美しく表現しています。

① 歌詞について、気付いたことや思ったことを下のメモに書きましょう。

感じたこと	気付いたこと

② 曲や演奏について、感じたことや気付いたことを下のメモに書きましょう。

感じたこと	気付いたこと

③ その2つのメモをもとに、それらの関わりが生み出す曲のよさについて話し合います。

作曲家の経歴について

日本では作曲家がうかんになり始めた明治時代に、作品を残した作曲家です。東京生まれ。父親の仕事の関係で各地を転々としたと、父が少年時代を過ごします。

東京音楽学校（現在の東京芸術大学）でピアノを学び、5年にピアノと作曲の勉強のためにドイツへ留学しました。しかしその途中で少少病倒。病に倒れ、帰国し、明治11年、その病、回復することなく、23歳と10か月という若さでなくなりました。

「お正月」、「花」、「雨降八重」、「冠戴の月」などの歌は、今でも多くの人々に親しまれています。

6年 p.40・41

36

多様性を
理解する

いろいろな楽器や、我が国及び諸外国の音楽を鑑賞することができるように鑑賞教材を精選しました。その際、それぞれの音楽のよさや違いを捉えやすくするために、比較鑑賞の学習を適宜設けています。

2年 p.10・11

日本の楽器に親しましましょう。

こと、三味線、三線の音色をきいて、それぞれのとくちようを感じ取りましょう。

こと



ことといういろいろな部分の名前に「電」がついているのは、楽器全体を電の形にたとえているからだよ。



ことといういろいろな部分の名前に「電」がついているのは、楽器全体を電の形にたとえているからだよ。

ことといういろいろな部分の名前に「電」がついているのは、楽器全体を電の形にたとえているからだよ。

ことといういろいろな部分の名前に「電」がついているのは、楽器全体を電の形にたとえているからだよ。

三味線

3本の糸(弦)がはってあり、右手に持っているばらで音を出します。左手で糸をおさえて、さまざまな高さの音を出します。



津軽じよんがら節

三線

3本の糸(弦)がはってあり、右手の人さし指にはめたチミ(つめ)で音を出します。左手で糸をおさえて、さまざまな高さの音を出します。



ていんさくぬ花

4年 p.56・57

箏、三味線、三線を紹介しています。

いろいろなくにおどりの音楽を楽しみましょう。

いろいろなくにおどりの音楽を楽しみましょう。

いろいろなくにおどりの音楽を楽しみましょう。

いろいろなくにおどりの音楽を楽しみましょう。

いろいろなくにおどりの音楽を楽しみましょう。

世界のいろいろな国の音楽に親しましましょう。

世界のいろいろな国の音楽に親しましましょう。

世界のいろいろな国の音楽に親しましましょう。

世界のいろいろな国の音楽に親しましましょう。

世界のいろいろな国の音楽に親しましましょう。

6年 p.50・51

子どもたちの
興味・関心を
引き出す工夫

テノール歌手 錦織 健さんのお話

日本語の歌曲、特に「待ちぼうけ」のように、語りの要素があるものを歌うときには、自然な発音で大きさにならないように気を付けています。

また、歌のパートだけでなく、ピアノ伴奏の楽譜もよく見て、作曲者が伝えたかったことを読み取るようにしています。例えば、「待ちぼうけ」の前奏の場合、「これから楽しいものが始まるよ」というようなメッセージが入っているんだと思います。



5年 p.45

演奏家のメッセージを紹介し、子どもたちが主体的に鑑賞することができるように工夫しました。

尺八演奏家 藤原道山さんのお話

作曲者がイメージしたもの

この曲は、もも花がさくころの瀬戸内海の風景をえています。作曲者の宮城道雄は、波の音やかいをこぐ音、かもめの鳴き声、海面がキラキラしている様子などをイメージしながら作曲したそうです。

風景が見えてくる曲

演奏していると、実際に風景が見えてくるような感じがします。近くから遠くへ景色が広がっていくような感じ、遠いところの風景を表している感じなど、自分なりに風景をイメージしながら演奏しています。



5年 p.53

国歌への意識を高め、国際性を養う「君が代」の扱い

国歌「君が代」は、各学年の最終ページに見開きで掲載しています。写真やコラムなどによって、国歌「君が代」への意識が自然に高まるとともに、他国の国歌や国旗も尊重する態度を養えるように配慮しています。

低学年 「親しみをもち、みんなと一緒に歌う」

1年

国歌は、オリンピックなどのスポーツのたいかいて、よくうたわれます。このとき、おなじくにのひとたちのつながりをつよくかんじます。



2016ねん リオデジャネイロ オリンピック (たいそう)

2年

国歌は、オリンピックなどのスポーツのたいかいて、よく歌われます。このとき、おなじ国の人たちのつながりをつよくかんじます。



2012年 ロンドンオリンピック (サッカー)

中学年 「歌詞や楽譜を見て覚えて歌う」

3年

さざれ石とは、細かい石のことをさします。そうした石があつまり、長い年月をかけてかたまって岩になったものは、日本のいろいろなところで見ることができます。



さざれ石公園 (岐阜県)



権王神社 (京都府)

4年

さざれ石とは、細かい石のことをさします。そうした石が集まり、長い年月をかけてかたまって岩になったものは、日本のいろいろなところで見ることができます。



筑波山神社 (茨城県)



熊野大社 (島根県)

高学年 「国歌の大切さを理解し、歌詞や旋律を正しく歌う」

5年

たがいの国歌を尊重しよう

わたしたちだけではなく、世界中の他の国の人たちも、自分たちの国歌にほこりをもっています。自分の国の国歌と同じように、他の国の国歌も尊重することが大切です。

国歌を歌ったり、きいたりするときのマナー

国によってちがいはありますが、国歌や国旗に対する敬意を表すために、右の写真のように、起立して、頭にかぶっているものを取るということがよく行われています。

「君が代」だけではなく、他の国の国歌のときも同様になります。



2017年ワールドベースボールクラシックの試合で、たがいの国歌の演奏をきいている様子

6年

たがいの国歌を尊重しよう

わたしたちだけではなく、世界中の他の国の人たちも、自分たちの国歌にほこりをもっています。自分の国の国歌と同じように、他の国の国歌も尊重することが大切です。

国歌を歌ったり、きいたりするときのマナー

国によってちがいはありますが、国歌や国旗に対する敬意を表すために、右の写真のように、起立して、頭にかぶっているものを取るということがよく行われています。

「君が代」だけではなく、他の国の国歌のときも同様になります。



高梨沙穂選手 (2017年ワールドカップ 平昌大会)

道徳教育や人権教育に対する配慮

互いの人権を尊重し合うこと、つまり「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」は、人権教育の理念でもあります。教科書で取り上げている楽曲の歌詞の内容や写真については、道徳教育や人権教育の観点に立って十分に吟味して選んでいます。子どもたちが自分自身のよさや可能性を認識して個性を生かしながら、多様な他者を価値のある存在として尊重し、協働していくことができるように配慮しました。

勤労、
公共の精神



茶つみを体験するしゅぎょうの様子

3年 p.16

家族愛、
家庭生活の
充実



うたのおわりに
あたたか手は
ぬけていくなだよ。

お年よりに あそびかたを おそわっている ようす

2年 p.58

礼儀
相互理解、
寛容

右の日本語のあいさつの
ことばを 手話で
あらわしてみよう。



れい

＼おはよう／

＼ありがとう／

＼さようなら／



2年 p.7

「友情、信頼」や「自然愛護」の観点で取り上げることができる歌唱教材の例

3年 p.6 「友だち」

4年 p.74 「いのちのオーケストラ」

5年 p.8 「Believe」

6年 p.52 「きっと届ける」 ほか

5年 p.9

「Believe」をつくった杉本竜一さんからのメッセージ

「信じることの大切さ」をこの曲にたくしました。人間一人一人が、ほんのちょっとした思いやりを他人や自然に対してもつだけで、世の中が明るくなるのではないかと、わたしは考えています。それは、おかげさな行動をとるということではなく、おたがいに道をゆずり合うとか、こまったときに助け合うというような身近なことです。

みなさんが歌詞の内容をよく理解して、心をつなげて歌えば、きっとすてきなハーモニーになるでしょう。


杉本竜一

ユニバーサルデザインに向けた取り組み

色覚特性をはじめとして、様々な状態にある子どもたちが、等しく学習を進めることができるような教科書を目指して、編集や紙面づくりに取り組んでいます。

特別支援教育の 視点に立った 配慮

教科書の紙面づくりを進める過程では、専門家の方々の校閲や助言を踏まえながら、子どもたちが使いやすいように細心の注意を払いました。

とりわけ、学習を進めるうえで大切な文章や楽譜などの情報にしっかりと注目することができるように工夫しています。例えば、視覚的な情報を一度にたくさん処理することが困難な子どもたちへの配慮として、優しい色調のイラストや、白を基調とするすっきりとしたデザインを採用しています。

歌詞や文章を写真中に入れるときには、無地の部分に配置したり背景を白くしたりすることで、読みやすさを確保しています。

歌詞の表す情景を思いうかべながら、
曲想にふさわしい歌声で歌いましょう。

●言葉や旋律の速と遅、強さの変化に気を付けて、
曲想にふさわしい歌い方を工夫して歌いましょう。

1
おぼろ月夜
文部省編曲・菅野直之 作詞・岡野成一 作曲

♩=76~84

1のほろほろはけにいりひうすれ
2さどわのほかげももりのいろも

みわたすやまのほかすみふかし
たなかのこみらーをたどるひと

はるかぜそよふくそらきみれば
かわずのなくねもかぬのおとも

ゆうづきかかりてにおいあわし
さながらかすめるおぼろづき

「この写真は、おぼろ月夜の情景を表現するために、優しい色調のイラストを採用しています。」

「歌詞や文章を写真中に入れるときには、無地の部分に配置したり背景を白くしたりすることで、読みやすさを確保しています。」

「かすみ深い夜の夜などに、ほんやりと
かすんで見える月のことを「おぼろ月」と
ふんじています。この歌には、日くれから、
おぼろ月の出た夜へと移っていく春の
情景がえがかれていきます。」

6年 p.12・13

写真と重なる楽譜では、読みやすさを確保するために、
背景を白くしています。

ご協力いただいた方々

● 特別支援教育に関する校閲

帝京平成大学 教授

田中良広 先生

前国立特別支援教育総合研究所 総括研究員

江田良市 先生

デジタル教科書における工夫

学習者用デジタル教科書には、特別な配慮を必要とする児童の学習上の困難を低減するために、読み上げ機能や白黒反転表示機能、総ルビ機能が付いています。(本書 p.58 参照)

様々な
色覚特性を
もった児童への
配慮

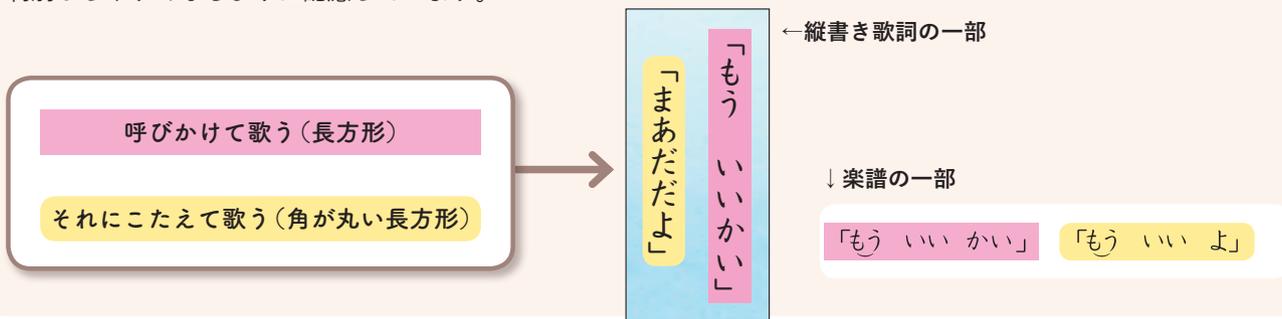
色彩を豊かに用いると、学習への興味が増し、学習理解の効果も上がります。しかし、色の感じ方には子どもたちの感性や経験の差による大きな違いがあり、身体的な特性にも個人差があります。つまり、色彩豊かなデザインが全ての子どもたちにとって必ずしも効果的であるとは言えません。

そこで私たちは、先天色覚異常（いわゆる色盲・色弱）をもつ方々の助言を受けながら編集作業を進め、色覚特性の違いが学習内容の理解に影響を与えないよう配慮しました。

全ての子どもたちにとって使いやすく学びやすい教材となるよう、また、誰もが違和感を抱かない色彩になるよう、紙面デザインには繊細な工夫を施しています。

▼ 囲みの色と形を変えて区別した例

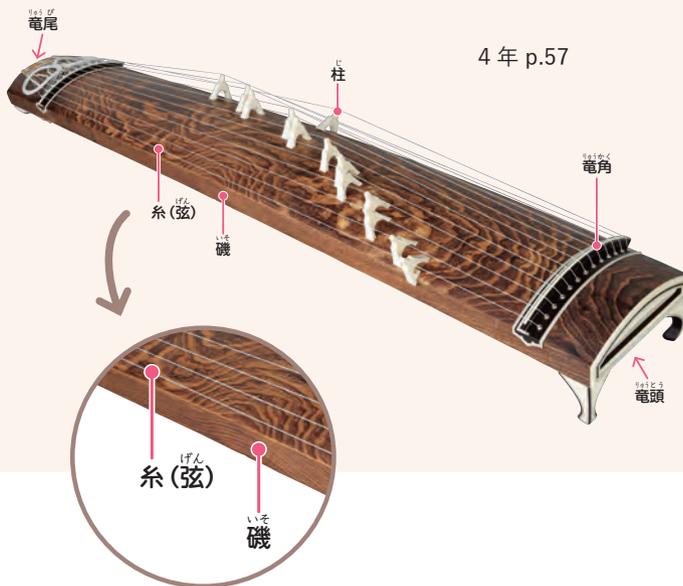
2年 p.12・13「かくれんぼ」では、「呼びかけて歌う」パートと、「それにこたえて歌う」パートの囲みを、色の違いだけではなく、それぞれ、長方形と、角が丸い長方形にして使い分けることで、どちらのパートなのかの判別がしやすくなるように配慮しています。



▼ 境界線を用いた例



3年 p.27



4年 p.57

ご協力いただいた方々

- 色彩デザインに関する助言
色覚問題研究グループぱすてる

大切な日本の歌を次の世代へ

子どもたちの発達段階に応じて、全学年に「歌いつごう 日本の歌」のコーナーを設けました。季節ごとの行事などで扱える歌、動物や自然に優しいまなざしを向ける心を育てる歌、日本語の美しさに触れられる歌などを取り上げています。



**歌いつごう
日本の歌**

ゆりかごの歌
作詞 徳田 直樹 作曲 徳田 直樹

一、ゆりかごの歌よ
カチカチが歌よ
ねんねよ、ねんね
ねんねよ、ねんね

二、ゆりかごの上に
びわの実がゆれるよ
ねんね、ねんね
ねんねよ、ねんね

三、ゆりかごの歌よ
水ねんねゆするよ
ねんねよ、ねんね
ねんねよ、ねんね

四、ゆりかごのゆめに
黄色い月がかるよ
ねんね、ねんね
ねんねよ、ねんね

七つの子
歌詞 徳田 直樹 作曲 本居 信彦

♪104-112

から一す なせなくの からすはやまに
やま一の ふるすへ いてみてごらん

かーわい なな一つ のがあるから よ
まーい めをーした いーいーこだよ

か わい か わい ど からすは なくの
か わい か わい ど なくんだ よ

D.C. (12/19/93)

どこかで春が
作詞 徳田 直樹 作曲 徳田 直樹

どこかで 春が生まれてる
どこかで 水がながれ出す
どこかで ひばりが鳴いている
どこかで めの出る音がする

山の三月 春風ふいて
どこかで 春が生まれてる

お年よりやおうちの人に、いろいろな歌を歌わってあげるのねいね。

3年 p.70・71

みどりのそよ風
詞 渡辺 かつら 作詞 渡辺 かつら 作曲 渡辺 かつら

♪116-126

mp

みどりのそよ風が 一せ いひだ たね
みどりのそよ風が 一せ いひだ たね

つらねも ひらひら まめーのはな
はらねこ ゆりまは うたーいまは

mp

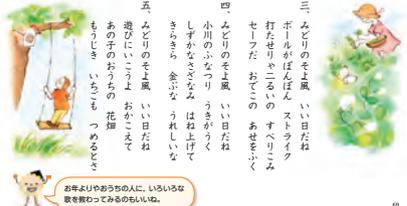
なないろ ぼたけに いもうこの
すばこの まるまど ねんねどり

つとまきで つつむが わーい いて
つとまきで つつむが わーい いて

三、みどりのそよ風、いひだたね
ボルがぼんぼん ストライク
打たせりやんこの すべりこ
せーつた おての あせをこく

四、みどりのそよ風、いひだたね
小川のなつり うさぎがうく
しずかなさなま はね上げて
きまきら 余すな うれしう
まのこのおうちの花畑
まうしき いちごも、つぎのとき

お年よりやおうちの人に、いろいろな歌を歌わってあげるのねいね。



4年 p.68・69

各学年で取り上げられている歌

1年

たなばたさま／おしょうがつ／
うれしいひなまつり

4年

みかんの花さくおか／
せいくらべ／みどりのそよ風

2年

夕日／とんぼのめがね／
シャボン玉

5年

ちいさい秋みつけた／海

3年

ゆりかごの歌／七つの子／
どこかで春が

6年

夏は来ぬ／浜千鳥

外国語活動との連携

国際理解教育の充実という観点から、さらに3年生から始まる外国語活動の学習をより豊かに展開できるようにするために、英語の歌を掲載しています。英語に初めて触れる児童への負担にも配慮して、体の部分や色の名前が含まれた平易な英語歌詞の歌を選曲しています。

(英語の歌) **Head, Shoulders, Knees And Toes**

♩ = 116~126 作詞・作曲者不明

ヘッド ショウル ダズ ニーズ アンド トゥズ
Head, shoul- ders, knees and toes, knees and toes,

ヘッド ショウル ダズ ニーズ アンド トゥズ ニーズ アンド トゥズ アンド アイズ アンド イアズ アンド
Head, shoul- ders, knees and toes, knees and toes, and eyes and ears and

マウス アンド ノーズ ヘッド ショウル ダズ ニーズ アンド トゥズ ニーズ アンド トゥズ
mouth and nose, Head, shoul- ders, knees and toes, knees and toes.

head : 頭	shoulders : かた	knees : ひざ	toes : つま先
eyes : 目	ears : 耳	mouth : 口	nose : はな

*英語についているカタカナは、歌うときのめやすとしてしめています。

77

英語歌詞の教材例

4年 p.77
「Sing a rainbow」

5年 p.36
「Michael, row the boat ashore」

6年 p.68
「Edelweiss」

歌詞に出てくる体の部分を
さわったり、指さしたりして
歌ってみてもいいね。



3年 p.77

ICT機器の活用について

紙面上の二次元コードを読み取ることによって、学習をサポートするコンテンツをICT機器で閲覧することができるようにしました。

D.C.
(始めから)

D.C.
(始めから)

31

音の重なり 和音のひびき 調 縦と横との関係

短調の和音



曲の紹介や短い動画などのコンテンツを閲覧できる、弊社のホームページに誘導します。

6年 p.31

第1学年

教材と学習指導要領の内容との対照表

扱い月のめやす	扱い時数	題材名	学習目標	教材名	
				☆…音楽づくり ♪…鑑賞	
4	4	4	1. うたっておどって なかよくならう	みんなでいっしょにうたって、ともだちをつくりましょう。	うたってなかよし
				ともだちといっしょにおどりましょう。	♪セブンスステップス ♪チェックッコリ(参考曲)
5	5	6	2. はくをかんじとろう	みんなであそびながらたのしくうたいましょう。	(共)ひらいた ひらいた
				おんがくにあわせてからだをうごかしましょう。	♪さんぼ
6	6	8	3. はくにのって リズムをうとう	[たんたん たん(うん)]のリズムをうちましょう。	じゃんけんぼん
				[たんたん たん(うん)]のリズムであそびましょう。	なまえあそび/フルーツランド
7	7	1	*学習内容や季節を考慮し、 題材から独立しています。	うたにあわせてリズムをうちながらききましょう。	♪しろくまの ジェンカ
				かたつむりによびかけるようなきもちでうたいましょう。	(共)かたつむり
9	9	8	5. どれみと なかよくならう	たんとたたのちがいにきづいてリズムをうちましょう。	ぶんぶんぶん
				たんとたたをつかかってことばでリズムをつくりましょう。	☆ことばでリズム
10	10	6	6. せりつで よびかけあおう	うみのようすをおもいうかべながらうたいましょう。	(共)うみ
				みつけたおとでよびかけあいましょう。	☆おとをさがしてあそぼう
11	11	6	7. がっきと なかよくならう	けんばんハーモニカとなかよくなりましょう。	♪みつばちハーモニーのぼうけん
				けんばんハーモニカでいろいろなおとをみつけましょう。	たのしくふこう
12	12	8	8. ようすを おもいうかべよう	どと そのばしよをみつけましょう。	どんぐりさんのおうち
				どれみのばしよをおぼえましょう。	どれみであいさつ
1	1	4	9. にほんのうたを たのしもう	どれみふあそのばしよをおぼえましょう。	なかよし
				おとのたかさにきをつけながらうたいましょう。	どれみふあそのまねっこ
2	2	10	10. みんなであわせて たのしもう	(共)ひのまる	
				たがいのこえをききながらよびかけあうてうたいましょう。	やまびこごっこ
3	3	10	10. みんなであわせて たのしもう	せんりつをつなげてあそびましょう。	☆まねっこあそび
				せんりつがよびかけあう おもしろさをかんじながらききましょう。	☆せんりつ まねっこ・おはなし
年間	3	巻末	うたいつごう にほんのうた	いろいろなおとをみつけてならしめましょう。	♪こうしんきょく
				きこったおとをみつけてうたといっしょにならしめましょう。	おとさがし
年間	3	巻末	うたいつごう にほんのうた	きこったおとをみつけてうたといっしょにならしめましょう。	さがしてみようならしてみよう
				きこったおとをみつけてうたといっしょにならしめましょう。	♪シンコペーテッドクロック
年間	3	巻末	うたいつごう にほんのうた	ほしぞらのようすをおもいうかべながらうたったりえんそうしたりしましょう。	きらきらぼし
				ほしぞらのようすをあらわすおんがくをつくりましょう。	☆ほしぞらのおんがく
年間	3	巻末	うたいつごう にほんのうた	かしからようすをおもいうかべてうたいましょう。	はるなつあきふゆ
				わらべうたをきいたりうたったりしてあそびましょう。	♪さんちゃんが/おおなみこなみ
年間	3	巻末	うたいつごう にほんのうた	ともだちといっしょにあそびながらうたいましょう。	おちゃらかほい
				たがいのこえをききあいながらうたいましょう。	あいあい
年間	3	巻末	うたいつごう にほんのうた	うたごえとがっきのおとをあわせてえんそうしましょう。	とんくるりんばんくるりん
				たがいのがっきのおとをききあいながらえんそうしましょう。	こいぬのマーチ
年間	3	巻末	うたいつごう にほんのうた	こうしんきょくのたのしさをかんじとってききましょう。	♪ラデツキー こうしんきょく
				世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	たなばたさま/おしょうがつ/うれしい
年間	3	巻末	みんなでのしく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	[うたってなかよし] おつかいありさん/ちゅうりっぷ/ ぞうさん/めだかのがっこう/ことり こぶたぬきつねこ/こいのぼり/いぬの

※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

国歌「きみがよ」

学習指導要領の内容との関連 (ア: 思考力, 判断力, 表現力等 イ: 知識 ウ: 技能 に関する資質・能力)

(共)…共通教材	A 表現															B 鑑賞		〔共通事項〕			
	歌唱					器楽					音楽づくり					鑑賞		ア 音楽を形づくっている要素	イ 音符, 休符, 記号や用語		
	ア	イ	ウ			ア	イ				ウ				ア	イ					
		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)					
	○	○	○	○	○														リズム 旋律 拍		
	○	○			○												○	○	音色 リズム 拍 フレーズ 呼びかけとこたえ		
	○	○	○	○	○														音色 リズム 拍 フレーズ 反復 呼びかけとこたえ		
	○	○	○	○	○														旋律 拍 フレーズ		
													○		○	○	○		音色 呼びかけとこたえ		
	○	○	○			○		○	○	○									音色 旋律 強弱 呼びかけとこたえ		
	○	○	○	○	○														音色 旋律 呼びかけとこたえ		
																				○	○
	○	○	○		○	○		○	○	○									音色 リズム 拍		
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								音色 速度 旋律 強弱 音の重なり 呼びかけとこたえ		
	○	○			○														速度 旋律 拍		
	○	○	○	○	○														音色 リズム 旋律 強弱 音の重なり 拍 呼びかけとこたえ		
ひなまつり	○	○	○	○	○														全般		
ちょうちょう/ のうた/ おまわりさん	○	○	○	○	○																
	○	○	○	○	○																

第2学年

教材と学習指導要領の内容との対照表

扱い月のめやす	扱い時数	題材名	学習目標	教材名	
				☆…音楽づくり ♪…鑑賞	
4	4	4	1. 音楽でみんなとつながろう	みんなでいっしょにあかるいこえでうたいましょう。 ともだちとせかいのあそびうたを楽しみましょう。 いろいろなくにおどりの音楽を楽しみましょう。 かくれんぼであそんでいるようすをおもいうかべながらうたいましょう。	メッセージ ♪小犬のピンゴ/♪ロンドンばし ♪ティニクリン/エースオブダイヤモンド (共)かくれんぼ
				5	5
6	6	10	3. ドレミであそぼう		
				7	7
9	9	2	* 学習内容や季節を考慮し、題材から独立しています。		
				10	10
11	11	6	6. くりかえしを見つけよう		
				12	12
1	1	4	9. 日本のうたでつながろう		
				2	2
3	3	10	10. みんなであわせて楽しもう		
				年間	4
みんなで楽しく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	あの青い空のように はるのまきば 海とおひさま 手のひらをたいように どらやきバウンド ドレミであそぼ アイアイ			

※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

国歌「きみがよ」

学習指導要領の内容との関連 (ア: 思考力, 判断力, 表現力等 イ: 知識 ウ: 技能 に関する資質・能力)

(共)…共通教材	A 表現															B 鑑賞		〔共通事項〕				
	歌唱					器楽					音楽づくり					鑑賞		ア 音楽を形づくっている要素	イ 音符, 休符, 記号や用語			
	ア	イ	ウ			ア	イ		ウ			ア	イ	ア	イ	ウ	ア			イ		
		(ア)	(イ)	(ウ)		(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)						
(参考曲)	○	○	○	○	○														○	○	音色 リズム 強弱 拍 呼びかけとこたえ	
／とうしん ドーイ	○	○	○	○	○														○	○		
	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○					リズム 旋律 拍	
	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○			○	○		
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										音色 リズム 旋律 音の重なり フレーズ 音楽の縦と横との関係	
																		○	○			
																		○	○	音色 強弱 音の重なり 反復		
	○	○	○	○	○															音色 旋律		
	○	○			○	○	○	○	○	○	○									リズム 音の重なり 拍	4分音符 4分休符 8分音符 8分休符	
	○	○			○	○	○	○	○	○	○											
	○	○			○															リズム 旋律 拍 フレーズ 反復		
																		○	○	音色 リズム 音の重なり 呼びかけとこたえ	2分音符	
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○											
バレエ	○	○	○	○	○															音色 リズム 速度 旋律 強弱 反復		
	○	○	○	○	○	○		○	○	○												
どこさ	○	○			○															旋律 音の重なり 拍 フレーズ		
	○	○	○		○																	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									音色 旋律 音の重なり 反復 呼びかけとこたえ 音楽の縦と横との関係		
	○	○	○	○	○																	
	○	○	○	○	○																	
	○	○	○	○	○																	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									全般		
	○	○	○	○	○																	

第3学年

教材と学習指導要領の内容との対照表

扱い月のめやす	扱い時数 60	題材名	学習目標	教材名	
				☆…音楽づくり ♪…鑑賞	
4	4	2	1. 音楽で心をつなげよう	友だちへの思いをこめて歌いましょう。	友だち リズムでなかよくなるろう
				音の高さに気をつけながら、歌ったりひいたりしましょう。 音の高さに気をつけて、明るい声で歌いましょう。	ドレミで歌おう (共)春の小川 海風きって ☆せんりつづくり
5	5	6	2. 歌って音の高さを感じとろう	楽器といっしょに明るい声で歌いましょう。	(共)茶つき
				*学習内容や季節を考慮し、題材から独立しています。	曲のかんじを生かして歌いましょう。
6	6	8	3. リコーダーのひびきを感じとろう	リコーダーに親しみましょう。 リコーダーのえんそうのしかたをおぼえましょう。 リコーダーでシの音をふきましょう。	♪ピタゴラスイッチ/♪小鳥のために 練習1～4
				ラとソの運指をおぼえて、きれいな音でふきましょう。	練習1・2/きれいなソラシ ♪きらきら星
7	7			歌うようにリコーダーをふきましょう。	坂道/雨上がり/アチャパチャ/ノチャ
9	9	1	*学習内容や季節を考慮し、題材から独立しています。	2拍子によってえんそうしましょう。 くりかえしや変化を使って、まとまりのあるリズムをつくりましょう。	ゆかいな木さん ☆手拍子でリズム
				4. 拍によってリズムを感じとろう	
10	10	6	6. 曲のかんじを生かそう	日本に古くからつたわる曲のふんいきを感じとって歌いましょう。	(共)うさぎ
				5. せんりつのとくちょうを感じとろう	せんりつの上がり下がりを感じとって歌いましょう。 せんりつのとくちょうを生かしてえんそうしましょう。 曲の山を感じながら歌いましょう。
11	11	6	7. いろいろな音のひびきを感じとろう	曲のかんじを味わってききましょう。 曲のかんじに合ったふき方をくふうしてえんそうしましょう。 歌詞の様子を思いうかべながら、曲のかんじを生かして歌いましょう。	♪メヌエット 山のボルカ/練習 帰り道
				7. いろいろな音のひびきを感じとろう	トランペットとホルンのひびきに親しみましょう。 重なり合う音のひびきを感じとりながらえんそうしましょう。 「まほうの音楽」を入れて歌いましょう。 音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。
1	1	5	8. ちいきにつたわる音楽でつながろう	祭りばやしに親しみましょう。 祭りばやしのとくちょうを感じとりましょう。 <チャレンジ>	♪祇園囃子/ねぶた囃子 ♪神田囃子「投げ合い」 たいこにちょうせん!!
				3つの音で、おはやしのせんりつをつくりましょう。	☆ラドレの音でせんりつづくり
2	2	6	9. 音の重なりを感じて合わせよう	せんりつのもじりを楽しみながら歌ったりきいたりしましょう。 いろいろな楽器の音の重なりを楽しみながら合奏しましょう。	歌おう 声高く ♪かね エーデルワイス
年間	4	巻末	歌いつごう 日本の歌	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	ゆりかごの歌/七つの子/どこかで
			みんなで楽しく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	こころパレット おはよう おはよう にじ ゴー ゴー また あそぼ Head, Shoulders, Knees And Toes ゆかいなまきば よろこびの歌 ミッキーマウス マーチ
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。				国歌「君が代」	

学習指導要領の内容との関連 (ア: 思考力, 判断力, 表現力等 イ: 知識 ウ: 技能 に関する資質・能力)

(共)…共通教材	A 表現															B 鑑賞		〔共通事項〕		
	歌唱					器楽					音楽づくり					鑑賞		ア 音楽を形づくっている要素	イ 音符, 休符, 記号や用語	
	ア	イ	ウ			ア	イ		ウ			ア	イ	ア	イ	ア	イ			
		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)					
	○	○		○	○													リズム 旋律 拍		
	○	○	○			○		○	○	○								音色 旋律 音階 音楽の縦と横との関係	ト音記号 五線と加線 縦線 終止線 ブレス	
	○	○		○	○													旋律 拍		
(参考曲)						○		○	○	○								音色 リズム 旋律	付点2分音符 付点4分音符	
	○	○		○	○			○	○	○								リズム 旋律 拍 反復 変化	4分の2拍子	
	○	○		○														旋律		
	○	○		○	○	○	○	○		○	○							旋律 強弱 拍 フレーズ	4分の4拍子 4分の3拍子 タイ	
	○	○		○		○	○	○	○	○								音色 リズム 旋律 反復 変化	全音符	
						○	○	○	○	○								音色 旋律 強弱 音の重なり 拍 反復		
	○	○		○							○	○	○	○	○			音色 リズム 速度 旋律 拍 呼びかけとこたえ		
	○	○		○														音色 旋律 強弱 音の重なり フレーズ 反復		
春が	○	○	○	○	○													全般		
	○	○	○	○	○															
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					

第4学年

教材と学習指導要領の内容との対照表

扱い月のめやす	扱い時数 60	題材名	学習目標	教材名	
				☆…音楽づくり ♪…鑑賞	
4	4	4	1. 音楽で心の輪を広げよう	思いをこめて歌いましょう。	花束をあなたに
				歌詞の表す様子を思いうかべながら歌いましょう。	リズムでなかよくなるろう (共) さくら さくら
5	5	7	2. 歌声のひびきを感じ取ろう	音の高さに気をつけながら、明るい声で歌いましょう。	いいことありそう
				2人の歌声による音楽のおもしろさを感じ取りながらききましょう。	♪ババゲーノとババゲーナの二重唱
				リコーダーと合わせて、明るい声で歌いましょう。	歌のにじ ☆せんりつづくり
6	6	8	3. いろいろなリズムを感じ取ろう	歌詞の表す様子を思いうかべながら、のびやかな声で歌いましょう。	(共) まきばの朝
				6拍子を感じながら歌いましょう。	風のメロディー
7	7	3	4. ちいきに伝わる音楽に親しもう	手拍子のリズムを重ねてえんそうしましょう。	クラッピングファンタジー 第7番
				拍にのって、歌と打楽器を合わせてえんそうしましょう。	いろんな木の実 ♪ピーナッツ ベンダー (参考曲)
9	9	8	5. せんりつのとくちょうを感じ取ろう	くり返しや変化を使って、リズムアンサンブルをつくりましょう。	☆言葉でリズムアンサンブル
				ちいきにつたわる民謡をさいたり歌ったりしましょう。	♪こきりこ
10	10	7	6. せんりつと重なりを感じ取ろう	<チャレンジ>	♪ちいきにつたわる音楽を調べよう
				せんりつのとくちょうを合ったふき方でえんそうしましょう。	陽気な船長
11	11	7	7. いろいろな音のひびきを感じ取ろう	せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。	ゆかいに歩けば
				せんりつのとくちょうを感じ取りながらききましょう。	♪白鳥/堂々たるライオンの行進
12	12	7	8. 日本の音楽でつながろう	せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。	(共) とんび
				音が重なり合うおもしろさを感じ取りましょう。	パレード ホッホー ♪ファランドール
1	1	5	9. 曲の気分を感じ取ろう	せんりつと重なり合う美しさを感じてえんそうしましょう。	オーラ リー
				声が重なり合う美しさを感じて歌いましょう。	(共) もみじ
2	2	7	8. 日本の音楽でつながろう	音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。	☆打楽器の音楽
				ゆたかなひびきを味わいながらえんそうしましょう。	茶色の小びん
3	3	7	9. 曲の気分を感じ取ろう	フルートとクラリネットのひびきに親しみましょう。	♪メヌエット/クラリネット ボルカ
				日本の楽器に親しみましょう。	♪こと独奏による主題と6つの変奏 ♪津軽じょんがら節/ていんさぐ
年間	4	巻末	歌いつごう 日本の歌	<チャレンジ>	ことをひいてみよう
				5つの音で、せんりつをつくりましょう。	☆2人でせんりつづくり
年間	4	巻末	みんなで楽しく	曲の気分を感じ取って歌いましょう。	赤いやねの家
				曲の気分を感じ取って合奏しましょう。	ジッパディードゥーダー
年間	4	巻末	みんなで楽しく	音楽が表している様子を思いうかべながらききましょう。	♪山の魔王の宮殿にて ♪朝の気分 (参考曲)
				世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	みかんの花さくおか/せいくらべ/
				各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	ごんぎつね いつだって! 林の朝 いのちのオーケストラ 子どもの世界 チャレンジ! Sing a rainbow 雨の公園 ハッピーバースデイ トゥユー スーパーカラフルジスティックエクス
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。				国歌「君が代」	

学習指導要領の内容との関連 (ア: 思考力, 判断力, 表現力等 イ: 知識 ウ: 技能 に関する資質・能力)

(共)…共通教材	A 表現															B 鑑賞		〔共通事項〕		
	歌唱					器楽					音楽づくり					鑑賞		ア 音楽を形づくっている要素	イ 音符, 休符, 記号や用語	
	ア	イ	ウ			ア	イ	ウ			ア	イ	ウ			ア	イ			
		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)					
	○	○		○	○														リズム 旋律 拍	フラット
	○	○		○	○												○	○	音色 旋律 音の重なり 音階 調 フレーズ 呼びかけとこたえ 音楽の縦と横との関係	付点8分音符 16分音符
楽しいマーチ	○	○		○	○														音色 リズム 旋律 強弱 音の重なり 拍 フレーズ 反復 呼びかけとこたえ 変化 音楽の縦と横との関係	8分の6拍子 メゾピアノ メゾフォルテ フォルテ クレシェンド デクレシェンド くり返し記号
																	○	○	音色 旋律	
	○	○	○	○	○														音色 リズム 速度 旋律 強弱 呼びかけとこたえ	スタッカート ピアノ
	○	○		○	○												○	○	音色 旋律 音の重なり フレーズ 音楽の縦と横との関係	
											○	○	○	○	○	○			音色 旋律 強弱 音の重なり 拍 音楽の縦と横との関係	シャープ
「さくら」より ぬ花 (参考曲)																	○	○	音色 旋律 反復	
	○	○	○	○	○														音色 速度 旋律 強弱 音の重なり 拍 反復	
みどりのそよ風	○	○	○	○	○															
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
ピアリドーシャス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
	○	○	○	○	○															

第5学年

教材と学習指導要領の内容との対照表

扱い月の めやす	扱い 時数 50	題材名	学習目標	教材名	
				☆…音楽づくり ♪…鑑賞	
年間	2	巻頭	表現するときに大切なこと	浅田真央さんからのメッセージ	
			年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための教材。	Believe	
4	4	1. 歌声をひびかせて 心をつなげよう	曲の感じを生かして、明るい声で歌いましょう。	すてきな一歩	
5	5		曲の特徴を生かして、明るい声で歌いましょう。	(共) こいのぼり	
5	5	2. 音の重なりを 感じ取ろう	リコーダーの音が重なり合うひびきを感じ取りながら演奏しましょう。	小さな約束	
6	6		歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱しましょう。	いつでもあの海は	
6	6		いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらききましょう。	♪アイネ クライネ ナハトムジーク ♪プレリュード (参考曲)	
7	7	3. いろいろな音色を 感じ取ろう	いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを楽しみながら演奏しましょう。	リボンのおどり (ラバンバ)	
7	7		オーケストラのひびきに親しみましょう。	♪祝典序曲 ♪アフリカン シンフォニー	
7	7		打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして、リズムアンサンブルをつくりましょう。	☆打楽器でリズムアンサンブル	
9	9	4. 和音の移り変わりを 感じ取ろう	和音の移り変わりをを感じ取りながら演奏しましょう。	静かにねむれ	
10	10		和音の移り変わりをを感じ取りながら合唱しましょう。	こげよ マイケル (Michael, row the ♪こげよ マイケル (参考曲)	
11	10	5. 曲想の変化を 感じ取ろう	曲想の変化を感じ取って、明るい声で歌いましょう。	夢の世界を	
11	11		曲想を生かして合奏しましょう。	キリマンジャロ	
12	12	6. 詩と音楽の関わりを 味わおう	詩と音楽との結び付きに気を付けて、日本語の歌曲を味わいましょう。	♪待ちぼうけ/赤とんぼ/この道	
12	12		歌詞の表す情景を思いうかべながら歌いましょう。	(共) 冬げしき	
12	12		曲想を生かして歌いましょう。	(共) スキーの歌	
1	1	7. 日本の音楽に親しもう	和楽器のひびきと旋律の美しさを味わいながらききましょう。	♪春の海	
2	2		日本の旋律の美しさを味わいながら歌いましょう。	(共) 子もり歌	
2	2		音楽の特徴を感じ取りながら、日本の民謡をききましょう。	♪ソーラン節/かりぼし切り歌	
3	3	8. 思いを表現に生かそう	日本の音階を使って旋律をつくりましょう。	☆音階の音で旋律づくり	
3	3		きいている人に、音楽のもり上がりが伝わるように演奏しましょう。	威風堂々 ♪威風堂々 第1番	
3	3		歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。	大空がむかえる朝 ほたるの光	
年間	4	巻末	歌いつごう 日本の歌	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	ちいさい秋みつけた/海
			みんなで楽しく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	マイバラード ありがとうの花 A good day それぞれの空 小さな鳥の小さな夢 失われた歌 クラッピング ファンタジー 第4番 ギャラクシー ～銀河をこえて～ アフリカン シンフォニー
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。				国歌「君が代」	

学習指導要領の内容との関連 (ア：思考力, 判断力, 表現力等 イ：知識 ウ：技能 に関する資質・能力)

(共)…共通教材	A 表現														B 鑑賞		〔共通事項〕	
	歌唱					器楽					音楽づくり				鑑賞		ア 音楽を形づくっている要素	イ 音符, 休符, 記号や用語
	ア	イ	ウ			ア	イ	ウ			ア	イ	ウ		ア	イ		
		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)			
	○	○	○	○	○													
	○	○	○	○	○													音色 リズム 旋律 強弱
	○	○				○	○	○	○	○	○							
第1楽章	○	○														○	○	音色 旋律 音の重なり 音階 調 音楽の縦と横との関係
(参考曲)						○	○	○	○	○	○							音色 リズム 旋律 音の重なり 反復 呼びかけとこたえ 変化
												○	○	○	○	○	○	
boat ashore)	○	○	○			○	○											音色 旋律 音の重なり 和音の響き 調 呼びかけとこたえ
	○	○	○	○	○													音色 リズム 旋律 強弱 音の重なり 呼びかけとこたえ
						○	○	○	○	○	○							
	○	○																音色 リズム 速度 旋律 強弱 フレーズ
	○	○	○	○														音色 旋律 音の重なり 音階 拍 反復 呼びかけとこたえ
						○	○	○	○	○	○							
																		音色 速度 旋律 強弱 音の重なり
	○	○	○	○	○													
	○	○	○	○	○													
	○	○	○	○	○													スラー
	○	○	○	○	○													
	○	○	○	○	○													全般
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
	○	○	○	○	○													

第6学年

教材と学習指導要領の内容との対照表

扱い月の めやす	扱い 時数 50	題材名	学習目標	教材名	
				☆…音楽づくり ♪…鑑賞	
年間	2	巻頭	時代をこえて受けつぐ歌舞伎のころ	市川猿之助さんからのメッセージ	
			年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための教材。	つばさをください	
4	4	5 1. 歌声をひびかせて 心をつなげよう	明るくひびきのある声で歌いましょう。	明日という大空	
5	5		歌詞の表す情景を思いうかべながら、曲想にふさわしい歌声で歌いましょう。	(共)おぼろ月夜	
			曲想にふさわしい歌声で歌いましょう。	星空はいつも	
6	6	6 2. いろいろな音色を 感じ取ろう	オーケストラのひびきを味わいながらききましょう。	♪木星	
			パートの役割や楽器の音色の特徴を生かして合奏しましょう。	ラバーズ コンチェルト	
			声のひびきが重なるおもしろさを生かして音楽をつくりましょう。	☆ボイスアンサンブル	
7	7	4 3. 旋律の特徴を生かして 表現しよう	歌詞と曲想との関わりに気を付けて歌いましょう。	(共)われは海の子	
			旋律のまとまりに気を付けながら演奏しましょう。	メヌエット	
9	9	7 4. いろいろな和音のひびき を感じ取ろう	歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱しましょう。	星の世界	
10	10		和音のひびきの美しさを味わいながら演奏しましょう。	雨のうた	
			和音にふくまれる音を使って旋律をつくりましょう。	☆和音の音で旋律づくり	
11	11	7 5. 曲想の変化を 感じ取ろう	曲想の変化を味わいながら、思いをこめて歌いましょう。	思い出のメロディー	
			曲想の移り変わりを味わいながらききましょう。	♪ハンガリー舞曲 第5番	
			曲想を生かして合奏しましょう。	風を切って	
12	12	5 6. 詩と音楽の関わりを 味わおう	言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、日本の歌を味わいましょう。	♪花／箱根八里／荒城の月	
			人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌いましょう。	(共)ふるさと	
1	1	4 7. 日本や世界の音楽に 親しもう	日本に古くから伝わる音楽に親しみましょう。	(共)越天楽今様	
2	2		世界のいろいろな国の音楽に親しみましょう。	♪雅楽「越天楽」 ♪世界の国々の音楽	
3	3	6 8. 音楽で思いを伝えよう	曲想を生かして表情豊かに歌いましょう。	きっと届ける	
			感謝の気持ちをこめて歌いましょう。	さよなら友よ あおげばとうとし	
年間	4	巻末	歌いつごう 日本の歌	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	夏は来ぬ／浜千鳥
			みんなで楽しく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	Wish ～夢を信じて 旅立ちの日に あすという日が 歌よ ありがとう そよ風のデュエット いのちの歌 Edelweiss 木星 コンドルは飛んで行く
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。				国歌「君が代」	

教師用指導書



6つのアイテムで
授業をサポートします!



日々の授業の内容を押さえる1冊

実践編

3つの
特色

- 各教材に関する内容として、「発問例・指導のポイント・学習の支援」を掲載します。

- 学習の流れと発問例等の内容をリンクし、授業の展開をイメージしやすくします。

- 評価には、新たに「Aと判断する児童の状況の例」を加え、より充実した内容にします。



授業の内容をより深く掘り下げる1冊

研究編

主に以下の内容を掲載しています。

- 各題材の見通しを立てるための題材のねらいや意図等
- 教材ごとの見通しを立てるための展開例
- 指導を深める指導資料



各教材曲の伴奏譜を掲載

伴奏編

- 簡易伴奏譜と本格伴奏譜の2種類を掲載し、用途に応じて使い分けことができます。(一部、本格伴奏譜のみの曲もあります。)
- 必要に応じて、移調楽譜や鑑賞曲の参考楽譜も取り上げています。

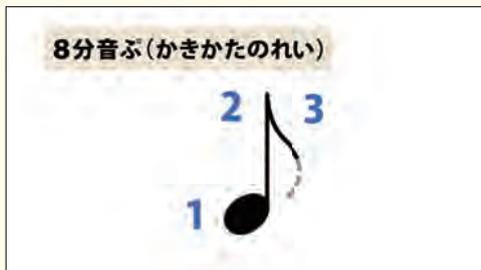
4

指導内容や指導方法のイメージを伝える動画 音楽授業支援 DVD

先生方を、約2～5分ほどの動画でサポートします！
事前の準備だけでなく、授業中にもご活用いただける内容です。



●プロの演奏家のお手本を見ながら、学ぶことができます。



●音符の書き方を全員で確認できます。



●「音楽づくり」の活動の流れを丁寧に伝えます。

5

表現教材の模範演奏と伴奏を収録 指導用CD

模範演奏と伴奏の他にも、

- 低学年を中心に適宜、階名唱を収録しています。
- 中学年以上は、旋律づくりの伴奏例を収録しています。

6

鑑賞教材全曲と参考曲を収録 鑑賞用CD

- 参考曲は、鑑賞教材に関連する曲を選択しています。
- 4年生の鑑賞資料「日本各地につたわる民謡や郷土芸能」も収録しています。

拡大教科書

弱視の子どもたちのために作成される教科書です。音楽を学習するうえで、たいへん重要な要素である「楽譜」の見やすさや使いやすさを第一に考え、楽譜のまとまりを見渡せるように配慮したレイアウトになっています。



※紙面サイズは、29cm × 29cm です。

学習者用デジタル教科書

2019年4月1日に学校教育法等の一部を改正する法律が施行され、教育課程の一部において、必要に応じて「学習者用デジタル教科書」を、通常の紙の教科書に代えて使用できるようになりました。

「学習者用デジタル教科書」は、児童一人一人がタブレット端末などの学習者用コンピュータで使用します。ICTの特性を活かして学習に取り組むことができます。

1 画面の拡大・縮小

- 教科書の紙面を任意の大きさに拡大して表示することができます。写真や図などの細かな部分を拡大して確認することができます。

2 書き込み機能

- 教科書の紙面にペンやマーカーで書き込むことを簡単に繰り返す、試行錯誤することができます。また、書き込みにより自分の考えを可視化して相手に示しつつ説明したり、他の児童と考えを共有することで意見をまとめたりすることができます。

3 他のデジタル教材やICT機器と一体的に利用

- 学習者用コンピュータで利用できる機能（録音・録画など）や他のデジタル教材と一体的に使用することで、学習を深めることができます。また、必要に応じて黒板への板書の代わりに児童が書き込みを行った学習者用デジタル教科書の画面を大型提示装置に表示することで、より多くの時間を机間巡視や児童へのきめ細やかな指導に費やすことができます。



下記の機能により、特別な配慮を必要とする児童の学習上の困難を低減することができます。

4 読み上げ機能

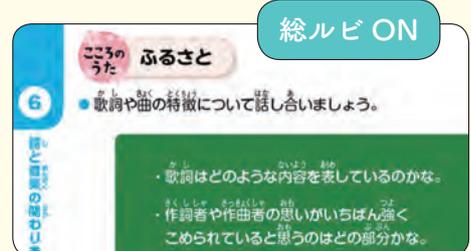
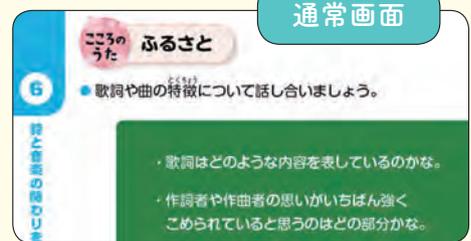
- 教科書の紙面を機械音声で読み上げることで、教科書の内容を認識・理解しやすくなります。

5 白黒反転表示機能

- 教科書の紙面の背景色や文字色を変更・反転して表示することで、一人一人の状況に応じて、教科書の内容を理解しやすくなることができます。

6 総ルビ機能

- 教科書の全ての漢字にルビ（ふりがな）を振ることができ、漢字が読めないことによるつまづきを避け、児童の学習意欲を支えることができます。



指導者用デジタル教科書（教材）

「指導者用デジタル教科書（教材）」は、指導者が大型提示装置に映し出して使用します。

教科書の紙面が大きく表示され、「学習者用デジタル教科書」と同様に、紙面の拡大や書き込みができるほか、音源や映像など様々なコンテンツが収録されており、指導に役立てることができます。

歌 唱

- 楽譜や縦書き歌詞を大きく映し出すことができます。合唱の曲ではパート別の音源を収録しており、再生するパートを選択して模範演奏を聴くことができます。



器 楽

- リコーダーの教材では、楽譜と運指を大きく映しながら音と連動して動くコンテンツを収録しています。また、和楽器の教材では、楽器の演奏方法を解説した動画資料などを見ることができます。



音楽づくり

- 実際の活動をサポートするコンテンツを収録しています。例えば、旋律をつくる学習では、選んでつくった旋律を再生することができます。模範として児童に見せることで、学習の見通しをもって活動に取り組むことができます。



鑑 賞

- 教科書の譜例を大きく表示したり、それに対応する音源を聴いたりすることができます。その他に、動画資料など、補助的な資料を収録しています。



(対応予定 OS)
Windows8.1, Windows10, iOS(iPad)

※ここに掲載されているのは開発中の画面です。
デザインや内容は発売に向け改良して参ります。

検討の観点別に見た特色

教育基本法との関連

観点	教科書の特色	具体例の参照ページ
第一号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健全な身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽科の学習を通して、幅広い知識と教養を身に付けられるように、児童に身近なテーマで、音楽にまつわる特集やコラムが設けられている。 ●歌詞の内容に配慮した歌唱教材やいろいろな編成の器楽教材、自信をもってつくれる音楽づくり教材、多種多様な鑑賞教材が選ばれ、豊かな情操と道徳心を培えるように配慮されている。 	5年 p.2・3 6年 p.2・3, 74・75 ほか 歌詞への配慮： 3年 p.6, 46・47 6年 p.52・53, 66・67 編成への配慮： 4年 p.20・21 ほか
第二号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●対話的な学習を通して、児童が自ら気付いた音楽の価値や、友達の見付けた音楽のよさを尊重し合えるように、教材の提示方法や活動の難易度について配慮されている。 ●気付いたこと、理解したことを生かして音楽活動が進められるように教材間の関係性が高められ、児童の創造性を培うことができるように配慮されている。 ●郷土の音楽を伝承することの大切さを伝えるコラムや写真、職業として音楽活動をしていることが分かるオーケストラの写真などが掲載され、音楽と生活、音楽と職業との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように配慮されている。 	児童やキャラクターの吹き出しなどの情報 全学年を通した題材構成 3年 p.58～62 4年 p.26～31 3年 p.48・49 4年 p.52・53 5年 p.20～23, 26・27, 78・79 6年 p.16・17, 76
第三号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●合唱や合奏などグループで学習を進める際に、自分の役割の自覚やそれを果たす責任感を養ったり、友達と協力しながら音楽をつくり上げる中で、他者を尊敬しつつ、協力する態度を養ったりすることができるように配慮されている。 ●音や音楽を通して社会とのつながりを感じたり、音楽活動が社会に果たす役割を考えたりする活動を通して、音楽文化の発展に寄与する態度を養えるように配慮されている。 ●地域に伝わる芸能や文化などを受け継いでいる同世代の児童の写真が紹介されており、地域社会の絆を大切に、社会の形成に参画する素地が育つように配慮されている。 	5年 p.18・19 6年 p.18～21 4年 p.28～31 6年 p.46・47, 74・75 全学年裏表紙 2年 p.11 4年 p.29
第四号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●動物を愛護する内容や、友人を大切にしている内容の歌詞をもつ歌が取り上げられており、生命を尊ぶ心情を養えるように配慮されている。 ●自然を守ることの大切さを見つめ直すコラムや、大切に残したい風景をイメージすることができる写真が掲載され、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるように工夫されている。 	3年 p.6, 46・47 4年 p.74 6年 p.66・67 3年 p.10・11, 14・15, 38・39 4年 p.44・45
第五号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国に古くから伝わる習慣や文化を紹介するコラムが設けられたり、和楽器の演奏や鑑賞にあたり、演奏家からのメッセージが紹介されたりするなど、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国を愛する態度を養えるように工夫されている。 ●お囃子や民謡が発達段階に合わせて教材化されており、実際にまねする体験的な活動を通して、郷土の音楽に親しみ、愛着をもてるように工夫されている。 ●地域に伝わる芸能や文化などを受け継いでいる同世代の児童の写真が紹介されており、児童が実感をもって伝統や文化を大切にしている気持ちが育てられるように配慮されている。 ●自国だけでなく他国の国歌も尊重することの大切さに気付けるよう、国歌「君が代」にコラムが付されており、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮されている。 	3年 p.17, 33 5年 p.14・15 4年 p.58 5年 p.53 3年 p.58～62 4年 p.26～31 学年裏表紙 2年 p.11 4年 p.29 低学年 p.82・83 中・高学年 p.86・87

第2条との関連

学習指導要領との関連

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ	
範囲	<ul style="list-style-type: none"> ● 取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。 	各学年目次・各ページ	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わることができるように配慮されているか。 	各学年各ページ	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「知識」及び「技能」の習得に関する目標の達成に向けて、教科書上の工夫はなされているか。 	各学年各ページ	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標の達成に向けて、教科書上の工夫はなされているか。 	3年 p.30・31, 56・57 4年 p.48・49 5年 p.30～33 6年 p.34・35, 40・41	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標の達成に向けて、教科書上の工夫はなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1年間の学習の見通しをもつことができる「学びの地図」のページや、1年間の学習を振り返ることができる「ふり返りのページ」が設けられ、児童が主体的に学習に臨むことができるよう工夫されている。 ● 児童が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に生かすことができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促すコラムや特集が配置されている。 	1・2年 p.2・3, 80・81 3・4年 p.2・3, 82・83 5・6年 p.4・5, 82・83 1年 p.30・31 2年 p.28・29 6年 p.74・75
〔共通事項〕	<ul style="list-style-type: none"> ● 〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素が各ページ下部に示されており、さらに、児童が理解しやすい言葉で学習のねらいが記されたり、吹き出しなどで繰り返し示されたりするなど、適切に扱われている。 	各学年各ページ	
指導上の配慮や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教科書上の配慮や取り組みはなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童が自ら進んで学習活動に取り組むことができるように、学習の目標や具体的な活動例、ヒント、資料などが豊富に用意されており、音楽的な見方・考え方を働かせながら学習が進められるように配慮されている。 ● キャラクターの吹き出しなどにより、児童が意見を交流しやすいようにヒントが示されたり、専門家からのメッセージによって、自分の考えをより広げたり深めたりすることができるような取り組みがなされている。 ● 巻末には、鑑賞資料やリコーダーの運指表、楽典事項、振り返りのページがまとめて設けられており、児童が興味・関心をもちながら主体的に学習を進めていくことができるように配慮されている。 	各学年各ページ 各学年各ページ 各学年巻末
	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語活動の充実に向けた配慮はなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 聴き取ったり感じ取ったりしたことをもとに思考・判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、表現教材及び鑑賞教材においては、譜例（絵譜）や挿絵を用いた説明などが充実しており、それらを活用することで、言語活動の充実が図られるように工夫されている。 	1年 p.48・49 2年 p.42・43 3年 p.35, 42・43 4年 p.12・13, 33, 35 5年 p.19～21, 28・29 6年 p.16・17, 35, 41
	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童が実感をもって学習を進めるための体験活動や体を動かす活動は、適切に設定されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 郷土の伝統音楽を学習する際に、児童が親しみや実感をもって音楽に接することができるように、口唱歌の体験や民謡の歌い方をまねする体験活動が示されている。 ● 児童の音程感覚を養うために、挿絵の「ドレミ風船」を指さしながら歌い、音の高低の違いを手の動きによって感じ取る活動を設定するなど、歌唱の技能の育成につながる指導上の工夫が取り入れられている。 ● 和音の響きの違いを体の動きを使って感じ取ることができる活動例が示され、実感をもって学習を進めることができるように工夫されている。 	3年 p.58～62 4年 p.26～31 1年 p.42 ほか 2年 p.21 ほか 5年 p.35
	<ul style="list-style-type: none"> ● 著作者の創造性を尊重する意識をもてるように、適切に配慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 作曲者からのメッセージが紹介されたり、音楽をつくった人や演奏する人の工夫を考える活動が取り上げられたりするなど、音楽を大切にしている態度が養われるように配慮されている。 	5年 p.9, 42, 46, 53

編集上の工夫や特色

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ	
構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ● 題材や教材は系統的・発展的に組織されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領に示されている低・中・高の各学年の目標及び内容を踏まえた題材構成が採られており、各学年、全学年を通して系統的・発展的に組織されている。 ● リズム唱、階名唱、合唱などの歌唱の技能や、鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの演奏の技能については、発達段階を考慮した無理のないステップが踏まれている。 	各学年各ページ リズム唱：1年 p.14～27、2年 p.32～37 階名唱：「ドレミ風船」（ドレミで歌おう）の扱い 1年 p.39 ほか 鍵盤ハーモニカ：1年 p.32～41、2年 p.22・23 リコーダー：3年 p.18～27、44・45 ほか
	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材の配列は、単なる羅列ではなく、教材性に即して適切であるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 系統性及び発展性をもって組織化された題材を軸に、表現と鑑賞の教材が関連、対照、対比されながら組み合わせられており、教材性を生かした多様で効果的な学習が展開できるように配列されている。 	各学年各ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎的・基本的な学力の定着については、適切に配慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 相互に関連性をもった教材の配列により、積み重ねの学習や繰り返しの学習を行いやすく、音楽活動の基礎的な能力の定着、伸長が着実に図れるように配慮されている。 ● 各学年で学んだ重要な学習事項を、児童が自分で振り返り確認することができる「ふり返りのページ」が設けられており、基礎的・基本的な学力の定着が図られるように配慮されている。 	各学年各ページ 低学年 p.80・81 中・高学年 p.82・83
	<ul style="list-style-type: none"> ● 各学校や児童の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全学年の系統は題材と教材の扱いによって維持され、題材ごとに教材、活動、程度などが柔軟に選択できるように弾力的に組織されており、学習指導計画の作成に当たり、各学校や児童の実態に対応できるように適切に配慮されている。 	各学年各ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ● スタートカリキュラムへの配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1年生の導入ページにおいて、知っている歌と一緒に探して教え合ったり、ペアやグループで体を動かしながら歌ったりする活動が取り入れられており、無理なく段階的に音楽的な学習へ移行できるように配慮されている。 	1年 p.6～19
	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材や文章の分量、バランス、内容は適切であるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 題材、教材の分量及びバランスは、各学年の授業時数に配慮したものとなっている。 ● 題材のねらいに即して、学習内容や関連教材などが有機的に組織されており、教材や学習活動の分量を弾力的に増減できるように配慮されている。 ● 文章は児童に分かりやすく丁寧に示されており、文章量も適切なものとなっている。 	各学年各ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 明確な学習の観点のもと、幅広く学習活動を行うことができるように多様な教材が用意されており、児童が意欲的に取り組むことができるような配慮がなされている。 ● 児童の心情に即した新鮮でアイデアに満ちた教材が扱われており、興味・関心をもって学習を進めることができるように配慮されている。 	2年 p.28・29 4年 p.38・39 4年 p.20・21 5年 p.44～46 6年 p.18～21
教材の内容や程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材や学習活動の程度は、児童の心身の発達段階や能力の実態に適切しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽曲や歌詞の内容、音域などについても児童の心身の発達段階に応じて十分に考慮されている。 ● 柔軟で弾力的な学習活動を行えるように程度の差が考慮された教材が扱われており、各校や児童の実態に合わせて活動を選択することができるように配慮されている。 	1年 p.50～53 3年 p.6・7、52・53 4年 p.20・21 5年 p.16 6年 p.18～21
	<ul style="list-style-type: none"> ● 音遊びや即興的な表現活動など、「音楽づくり」の学習活動について適切に配慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習のねらいや活動の手だてが明確に示されており、児童が主体的に「音楽づくり」の学習活動に取り組むことができるように配慮されている。 ● 「音楽づくり」の教材が題材内で有機的に取り上げられており、他の音楽活動と関連させながら学習活動が進められ、学びや、思いや意図を相互に生かせるように配慮されている。 ● 「音楽づくり」の教材については、各学年の発達段階を考慮した無理のないステップが踏まれており、学年が上がるにつれて、着実に学力の積み重ねが行われるように配慮されている。 	2年 p.28・29 3年 p.30・31、56・57 4年 p.24・25、48・49 5年 p.30～33 1年 p.46 → 2年 p.61 → 3年 p.64 → 4年 p.60 → 5年 p.58 → 6年 p.32

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
教材の内容や程度	●我が国の伝統や文化に関する教材の扱いにおいては、児童が我が国や郷土の音楽に愛着をもてるように配慮されているか。	●手遊び歌や縄跳び歌などのわらべうた、地域に伝わる伝統芸能など、児童の生活に即した教材が学年段階に応じて、幅広く用意されている。 ●鑑賞教材として取り上げた伝統芸能や民謡などには、児童に親しみやすい切り口で学習のねらいや活動が設定されており、実際に音楽の一部を体験する活動を加えるなど、鑑賞学習のポイントを押さえつつ、音楽的側面から親しめるように配慮されている。	1年 p.62～65 2年 p.58～61 3年 p.58～62 4年 p.26～29 5年 p.56・57
	●童謡や唱歌などを含めた我が国の音楽文化に対する配慮はなされているか。	●共通教材については「こころのうた」と銘打ち、我が国の文化や自然環境の保護などの視点から説明文や情景写真などが用意されており、児童が知的好奇心や感受性を働かせながら歌うことができるように配慮されている。 ●各学年に「歌いっごう 日本の歌」として童謡や唱歌などが精選されて取り上げられており、世代を超えて日本の音楽文化を共有することができるように配慮されている。	各学年の共通教材のページ 1年 p.74・75 2年 p.70・71 3年 p.70・71 4年 p.68・69 5年 p.64・65 6年 p.56・57
	●鑑賞曲の選択及び扱いは適切であるか。	●題材のねらいに即した選曲により、学習内容が明確になっているとともに、授業時間内で繰り返し鑑賞することができるように曲の長さについても配慮されている。 ●題材のねらいに含まれる音楽を形づくっている要素を橋渡しとして、歌唱や器楽などの表現活動と関連付けられるように鑑賞学習のねらいが設定されており、鑑賞と表現の学習が密接に関連するように工夫されている。	各学年の鑑賞教材 3年 p.66・67 4年 p.40・41 5年 p.18～21
	●防災や復興について、音楽がどのように関わることができるかを考える配慮はなされているか。	●震災を体験した方によるメッセージや、復興がきっかけで歌が生まれたことを伝えるコラムが設けられ、「音楽に何ができるか」という観点から児童が考えることができるように配慮されている。	5年 p.22・23 6年 p.47
	●オリンピックやパラリンピックなどにおいて、音や音楽が果たす役割を考える工夫はなされているか。	●国歌「君が代」を大切に歌うことと他国の国歌を尊重する態度を養う観点で設けられたコラムや、パラリンピックのメダルに込められた工夫を紹介する特集を通して、児童が身近なテーマとして音や音楽が果たす役割を考えることができるように工夫されている。	低学年 p.82・83 高学年 p.86・87 6年 p.74・75
	●プログラミング的思考の育成に対して配慮がなされているか。	●楽器の音色やリズムパターンの組み合わせについて、見通しをもち、試行錯誤を繰り返しながら音楽をつくる教材が設けられ、児童が論理的に考える力を身に付けられるように配慮されている。	4年 p.24・25, p.48・49 5年 p.30～33
	表記・体裁・装丁	●説明文やイラストなどは、学習指導を進めるうえで適切であるか。	●楽譜や文字の大きさなどは、児童の発達段階に応じて設定されており、見やすさや読みやすさについても十分に配慮されている。 ●イラストや写真などの取り上げ方もアイデアにあふれ、音楽的感覚の育成や知的理解、学習活動の一助となるように、児童の感性に即して適切に扱われている。
●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。		●教科書紙面全体として、区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるように配慮されている。 ●文章や歌詞、楽譜などの近くにイラストや写真が配置される場合には、学習に必要な情報に確実に注目することができるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障害のある児童への配慮が行き届いている。	各学年各ページ
●全体の体裁は、学習指導を進めるうえで適切であるか。		●紙面の大きさは適切で、レイアウトも見やすく統一感がある。 ●題材ごとに通し番号が振られ、ツメによって題材のまとまりが分かりやすく示されるなど、見通しをもって学習することができるように工夫されている。	各学年目次及び各ページ
●印刷・製本などは適切であるか。		●楽譜、文字、イラスト、写真など、印刷の発色もよく、鮮明なものになっている。 ●製本は開きがよく、長期の使用に十分に耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙の使用や、リサイクル可能な表紙加工が施されるなど、環境にも配慮されている。	各学年各ページ

その他の様々な観点での配慮

1. 国際理解

2年 p.6「メッセージ」、p.10（いろいろな国の踊りの音楽）6年 p.50などの外国の言葉や文化に触れる教材のほか、高学年の「君が代」のページでは他国の国旗や国歌を尊重する気持ちを育む内容を掲載しました。

2. 情報化や ICT 活用への対応

4年 p.28 や6年 p.51 のように、インターネットを活用しての調べ学習などについて触れています。

また、二次元コードを読み取って資料にアクセスすることができるようになっています。一部はオーケストラなどの団体のホームページにリンクしており、そこから興味に応じて更に情報を広く得ることもできます。

3. 幼・保及び中学校との接続

1年巻頭では、幼稚園、保育園で歌った曲を見つけて歌ったり、遊び歌を聴いたりするなど、幼・保での活動からのスムーズな移行が図られるように配慮しました。

中学校における学習内容にしっかりと備える意味で、小学校段階で押さえるべき内容を確実に学習できるような題材構成によって、教材や学習内容を設定しています。

6年 p.78 では中等教育で学習する内容との架け橋になるような資料も用意しました。

4. 教科横断的な扱い

我が国の伝統的な音楽や、地域に伝わる音楽などを扱う題材を全学年に設けて、道徳科や生活科、あるいは社会科との関連をもつ学習ができるように配慮しました。

また、3年生以上では、英語で歌える易しい歌を掲載し、外国語活動と関連させながら扱うことができるように配慮しました。

5. 重量・判型

低学年に比べ中学年及び高学年が若干重くなっていますが、児童の身体的負担に対する配慮から、全体に軽量になるように紙質や判型を工夫しています。